

LION

HEADLINE

第5会則地域 (OSEAL)
講師育成研究会開催

ふるさと探訪

新潟県妙高市・地域のオンリー
ワンを守る雪国妙高の心意気

今の特集

子どもの貧困

4



IN JAPAN Official Publication of Lions Clubs International

APRIL 2016 WWW.THELION-MAG.JP

ライオン誌(毎月20日発行)第58巻第10号 2016年3月20日発行 昭和33年12月19日付第3種郵便物認可

ライオン誌日本語版出版物

ライオンズ新書

●ライオンズ新書01 ライオンズ力を高める 第1版第2刷

ライオンズクラブの歴史や組織からクラブ運営の全般までを、分かりやすく系統的にまとめた。1983年に刊行した『ライオンズスピリット』の後継書。

新書判 224ページ
1部500円・送料実費



●ライオンズ新書02 LCIF早分かり 第2版第1刷

ライオンズクラブ国際財団の目的や仕組み、寄せられた献金がライオンズの人道奉仕にどのように生かされているかなど、LCIFの概要や意義をまとめた。

新書判 184ページ
1部400円・送料実費



●大口注文割引：100～499部＝1部450円／500部以上＝1部400円

●大口注文割引：100～499部＝1部350円／500部以上＝1部300円

ライオンズスクール・シリーズ

●初級編・ライオンズクラブ入門 第3版第5刷

入会したての新会員を対象に、これだけは知っておきたいライオンズクラブの基礎知識をまとめた。併せて「ライオンズ用語集」も収録。

A4判 64ページ
1部400円・送料実費



●上級編・リーダーシップを養う 第1版第5刷

国際協会の総合的リーダーシップ育成プログラムを基に編集。地区役員研修会などの副読本に、またクラブ会長や地区役員員の指導力育成に最適。

A4判 64ページ
1部400円・送料実費



●大口注文割引(ライオンズスクール・シリーズ)：100～499部＝1部350円／500部以上＝1部300円

- 合計で2万円以上ご注文の場合、送料無料(組み合わせは問いません)。※ただし、急ぎの場合は実費請求
- お申し込みはEメール(office@thelion.jp)またはファクス(03-6674-8781)でお願いします



■2016年4月号
表紙
福井市
足羽川桜堤
写真/鈴木秀晃

4	国際会長メッセージ ● 「ライオンズ・ローアは国境を超える」
5	HEADLINE ● 第5会則地域(OSEAL)講師育成研究会開催
6	SCENE ● 富山県朝日町/福岡ノーマライゼーション
10	CLUB REPORT 10: 秋田県横手愛宕/12: 鳥根県多伎町/14: 佐賀県伊万里/14: 滋賀県草津/ 15: 愛知県江南/15: 愛媛県南宇和/16: 大阪天満/16: 静岡県清水/17: 大阪府高槻グリーン/17: 北海道登別
18	3分間ライオンズ・アクティビティ編 ● 障害者福祉 聴覚・言語障害者福祉
19	LCIF FILE
20	Foundation Impact
22	特集 ● 子どもの貧困 22: 日本の子どもの6人に1人が貧困状態。先進国では最悪の部類 26: 社会が変わらなければ、社会問題は解決しない
30	LIONS NEWS CASSETTE 30: LCIFの難民援助交付金によるトルコ・ライオンズの活動/30: ライオンが見たシリア難民キャンプの惨状/31: Touchstone Stories 試金石ストーリー 2 「国境を超えるライオンズ」/33: Touchstone Stories 試金石ストーリー 3 「平和へのビジョン」/34: 国際大会代議員の資格証明と投票/35: 福岡国際大会代議員資格証明用書式
36	福岡国際大会への道⑧ ● 福岡の街をライオンズ一色に染めるパレード
37	会員倍増計画リポート⑦
38	東日本大震災復興だより ● 岩手県陸中山田 3.11リレー連載⑬: 千坂清一
40	ライオンズを探せ ● 富山県入善
42	Close up ● 山田秀明
44	獅子吼 44: 山本政人/45: 吉武勝/46: 大谷健治/47: 室野和行
49	ふるさと探訪 ● 新潟県妙高市
54	READERS ROOM 54: 読者から/読者プレゼント 55: もう一度読みたい「あの記事」 ● 「ほんやりとした不安」
56	EDITORS ROOM 56: ライオン誌例会のススメ/次号予告 57: 編集室 ● 「ライオン誌の目的」寺越慎一
58	日本ライオンズクラブ 分布図



本誌は環境に配慮したFSC®認証紙を使用しています。

A Message From Our President



Dr. Jitsuhiro Yamada
Lions Clubs International
President

ライオンズ・ローアは国境を超える

毎年春になるとツバメたちが日本にやってきます。私たち日本人はこの春を告げる訪問者を愛し、歓迎します。ご存じのように、日本では古くからツバメは好運の象徴とされ、ツバメが巣をかける家には吉事があるとも言われます。この鳥たちがどこから訪問してくるのは問題ではありません。私たちはいつも訪問者を大切にし、訪問者によって私たちの暮らしをより豊かにしてきました。

今年度、私はライオンズの皆さんが国際的なハーモニーを高めるような、グローバルな奉仕を実施したり、支援したりすることを奨励してきました。LCIFへの寄付を通じ、難民を支援し、「はしかイニシアチブ」や、その他の恵まれない子どもたちのためのプロジェクトへの支援を呼び掛けました。クラブや地区が姉妹提携を結ぶことも呼び掛けてきました。

日本とフィリピンのライオンズが行ってきた国際協力は、一つの良い事例です。

長年にわたりこの両国のライオンズは、特にフィリピンの貧しい学校を支援するために協力してきました。地元のコミュニティーで奉仕するのも素晴らしいことですが、しかし忘れてはならないのは、世界にはライオンズのような人々が助けられない限り、全く見捨てられ、悲惨な状態のままとなってしまうコミュニティーに暮らす人々がまだまだいるということです。

ライオンズ・メンバーになるということはまた、国際協会の一員となり、グローバルな調和という理想を共有するということです。この理想は、皆さん一人ひとりのライオンが

意思を持って参加し、行動しなければ実現しません。

時には、ただサポートや共感を示す言葉を伝えるだけでも、国境や文化の違いを超えて人々の思いをつなぐこともあります。世界中のライオンズによる、Facebook（フェイスブック）やその他のソーシャルメディアをのぞいてみてください。

先日、インドのアグラ・マハンライオンズクラブが、高齢者や貧しい人々に白内障手術を提供した時の写真を国際協会のFacebookページに掲載すると、「ワオ、素晴らしい！ 視力の贈り物は本当に天の恵みですね！ ライオンズ、ありがとう」というコメントを、アメリカ・アリゾナ州ゴールド・キャニオンライオンズクラブのマイケル・デイビス・ジェームスが寄せていました。このように世界中の活動に心を寄せることが出来たら、自分自身のライオンズ・ライフが豊かになるのではないのでしょうか。

世界が今、本当に「地球村」と呼ばれるものであるなら、ライオンズはその平和と相互理解の長官であり守り手であると言って良いでしょう。

皆さんのライオンズ・ローアが国境を超えて響くような、世界中にいる恵まれない人々も包み込むような大きなハートを持った、そんなライオンになってください。

山田 實紘

2015-16年度国際会長
山田實紘

HEADLINE



国

際協会の指導力育成プログラムの一つで、複合地区レベルの講師育成を目的に会則地域ごとに開催される講師育成研究会（FDI）が、2月29日から3月3日まで愛知県名古屋市のキャッスルプラザで開かれた。日本での第5会則地域（東洋・東南アジア）のFDI開催は2011年3月に北海道千歳市で開かれて以来5年ぶり。参加者48人は日本語、英語、韓国語、中国語の言語別に四つのクラスに分かれ、各クラスで講師2人が指導に当たった。日本語クラスの参加者は10人で、講師はGMTエリア・リーダー（西日本担当）で昨年FDIを修了した丸山正芳元334複合地区議長と、杉恩田弘志（長野県・松本アルプスライオンズクラブ）。この研究会ではプレゼンテーションや視覚教材の活用法、授業設計など講師としての技能を学習する。プレゼンテーションについては時間管理目録や手振りの効果的な使い方、対象の違いによる言葉の選択などを実践を交えて学んだ。最終日には自ら設定したテーマで25分間のプレゼンテーションを行う最終課題があり、研究会終了後6カ月以内に所属複合地区内で講師として研修を行うことで、正式に修了者として認定を受ける。日本語クラスは終始和やかな雰囲気、担当する国際本部リーダーシップ開発部のキャシー・ライアン課

長は「日本の研修受講者は表情が硬くもの静かなことが多いが、今回はにこやかで活気があり非常に良い雰囲気」と高く評価。丸山講師は、「最終課題のプレゼンテーションは10人中9人がパワーポイントを使って行い、すばらしい内容でした。今後の講師としての活躍が期待されます。日本の定員は10人でしたが、参加申し込みのない複合地区もありました。非常に有意義な研究会ですから、次回からは全複合地区から参加されることが望まれます」と話していた。

SCENE

富山県・朝日町ライオンズクラブ

取材／井原一樹 写真／関根則夫

車椅子利用者を快適にする年に一度の車椅子清掃事業

2月9日、富山県朝日町にある老人ホーム有磯苑に、朝日町ライオンズクラブ（伊藤政博会長／22人）の会員たちが集まっていた。この日は、クラブが年に一度実施している車椅子磨きの日。クラブでは2年前からこの事業を実施しており、今回が3回目となる。

朝日町ライオンズクラブは30年程前から、有磯苑に寄付を続けて

きた。寄付金で購入するものは苑に決めてもらっていたが、車椅子の購入が多かったという。また、クラブではこうした縁から、有磯苑の草取りも行っている。

車椅子は毎日使うものであり、食べこぼしなどで汚れてしまうが、有磯苑の職員は他の業務で忙しく、車椅子の清掃にまで手が回らない。そこで、ライオン

ズの出番というわけだ。

車椅子の清掃は意外と重労働である。全体を薬液につけたぞうきんで拭き、細かい部品などが重なった、手の届きにくい所は歯ブラシで磨いていく。ブレーキや車輪のスポークなど、細かな場所はたくさんある。車椅子の向きをくると変えながら磨くのは大変だ。最もとりにくい汚れは座面の食べこぼしだ

という。

この日は車椅子約50台を磨いた。利用者の方々、その家族や、有磯苑の職員にも感謝されているアクティビティだ。

実はこの車椅子清掃、ライオンズの他に県立泊高校の生徒も実施している。クラブではいずれ、泊高校の生徒たちと共に活動するよう機会を作れないかと模索しているという。





福岡ノーマライゼーション ライオンズクラブ

取材/砂山幹博 写真/田中勝明

街にかつての活気を取り戻す、落書きを消しローラー大作戦

1970年代、九州最大の繁華街天神地区（福岡市中央区）に親不孝通り（現・親富孝通り）と呼ばれる一角があった。かつて二つの予備校があり、親のすねをかじる予備校生が多かったことからそう呼ばれ、80年代には若者の街としてにぎわいを見せた。が、予備校の撤退により街は次第にさびれ、落書きが目に見えて増えるようになった。

一方、障がい者と健常者が共に手を取り合って奉仕を行う目的で誕生した福岡ノーマライゼーションライオンズクラブ（大松隆会長/33人）も2010年に結成15年を迎え、新しい風を起さなくてはならない時期を迎えていた。青少年の健全育成と障がい者の社会参加を目指し活動をしてきたが、地域社会にも目を向け、親富孝通り界隈の落

書き消しに取り組むこととなった。当初はクラブ単独で地元の町内会など各団体に協力を呼び掛けたが、昨年から他クラブのメンバーも有志で参加。今年になって、ゾーン内の7クラブ合同の活動へと発展した。

所を大人や子ども、障がい者らが一生懸命奇麗にしている姿を見せることで、彼らの良心に訴えかけて落書きを未然に防ぐことが狙いだ。実際、5年にわたる活動で街の落書きは減っているという。

今年は特別寒い雨の中での作業だったが、午前中の2時間、185人の参加者で一齐に親富孝通りの落書きを消して回った。





「次いで、消毒」
身体をしっかりと洗って
ハンドルのがまから

「消毒」
「消毒」
「消毒」
「消毒」
「消毒」
「消毒」
「消毒」
「消毒」
「消毒」
「消毒」

332-F地区

秋田県・横手愛宕ライオンズクラブ

身体も心もほっこり温める ライオンズのかまくら



毎年2月15日に開幕する横手の雪まつりには、国内外から約40万人が訪れる。夕闇と共に約100基のかまくらやミニかまくらに灯がともると、まるでおとぎ話の一場面のような光景が現れた。かまくらは小正月にしめ縄などを焼く左義長と、井戸

の側の雪穴に水神を祭る風習が結びついたものと言われる。戦後は「ぼんでん」の神事と共に雪まつりとして開かれ、多くの観光客が訪れるようになった。横手愛宕ライオンズクラブ（照井嘉郎会長／77人）はこの雪まつりを盛り上げようと、4年前か



クラブ REPORT

●投稿要領：
アクティビティ、例会など、クラブの活動を具体的に、700字程度。写真を添付。ライオン誌ウェブマガジンのオンライン投稿か、Eメールまたは郵送で。送付先は57頁下。



らライオンズのかまくらで観光客をもてなしている。高さ3m近いかまくらは、市観光協会認定の「かまくら職人」が作る。メンバーは日暮れ頃に集合すると、かまくら内に水神を祀り、もてなしの準備を進めていった。かまくらには入り口で靴を脱いで入るのが普通だが、ライオンズのかまくらは靴のままに入れて

るように折りたたみ椅子を置いてある。足下をスノーブーツで固めた観光客の手間を省こうという配慮だ。ろうそくをともしたライオンズのかまくらで最初にもてなしを受けたのは、隣接する由利本荘市から来た親子連れ。近くに居ながら横手の雪まつりは初めてと言う。冷えた身体を温める



甘酒に自然と笑みがこぼれた。かまくらの中からは子どもたちが「はいってたんせ（入ってください）」「あがつてたんせ（召し上がってください）」と道行く人を招き、甘酒や焼き餅

を振る舞う。ライオンズのかまくらではメンバーのお子さんたちが観光客を迎えた。この日は時折吹雪となる氷点下の冷え込みだったが、かまくらの中はほのかに温もりが感じられる。

一方、外のテントではメンバーが、行き交う人々を温かい甘酒などでもてなした。吹き付ける雪をものともせず奮闘していたのは、主に若手のメンバーだ。5年前には40人程だった横手愛宕ライオンズクラブの会員数は、今年1月末時点で77人。一昨年度は10人、昨年度は7人、今年度は既に13人の新会員を迎えた。30代、40代の会員が増え、

平均年齢は58歳に下がっている。クラブは小・中学生を対象にしたバスケットボール、卓球、サッカーの大会を主催する青少年育成事業の他、献血や清掃などのアクティビティを展開。照井会長はこうした活発な奉仕活動と、会員同士の楽しい交流がクラブの魅力になっていると話す。「家族会員による増強が盛んに言われていますが、我がクラブは将来を見据えて従来通りのメンバー、特に若手を増やそうと努力してきました。今日もこの寒さの中、若いメンバーたちががんばってくれました」この日の活動で達成感を味わった若い会員たちは、クラブに新たな仲間を呼び寄せるに違いない。(取材/河村智子)



336-D地区

島根県・多伎町ライオンズクラブ

「愛(Eye)走フレンズ」として、目の不自由なランナーをサポート



ことになっていった。

今年で35回目を迎えた出雲くにびきマラソンには、全国から約3千人のランナーが参加、冬のマラソンとしては山陰で最大規模の大会となっている。また毎回、視覚に障害のあるランナーも10人前後出場。彼らをサポートする「愛走フレンズ」という組織が市民により結成され、送迎や伴走、

受付代行を始めとした身の回りの世話をを行うなど、「目が不自由な人でも安心して参加出来る大会」として、全国的に注目される市民マラソンでもある。

実は、この愛走フレンズ結成のきっかけとなったのが、名古屋から参加した半谷さんだった。1991年、半谷さんは神々の国・出雲で開催されるマラソン



半谷さんのサポートは2回目という坂根会長。長く続けていると同窓会のような雰囲気にもなる

ン大会があることを知り、全員の自分でも参加出来るか、市に問い合わせをした。当時の市長は、「弱い人の立場に立って仕事をするのが行政の役目」と、常々標榜していた岩國哲人氏だった。岩國市長は半谷さんに伴走者探しを約束し、すぐに担当課長を呼んで相談。課長は伴走可能な職員がいなか市役所内を聞いて回り、翌朝、その結果を市長に報告した。

「市長、5人見つかりました」

「みんな10キロ走れるのか？」

「いえ、誰も走れません」

「走れない人間が5人いて、どうなるんだ」

課長によると、伴走を申し出

た職員たちは「一人2キロずつ走り、5人で力を合わせてサポートするので、ぜひやらせてほしい」と訴えたという。5人は決意通り、その日から練習を開始。92年の第11回大会には、半谷さんの伴走を交替で務める5人の姿があった。出雲くにびきマラソンに、初の全盲ランナーが誕生した瞬間だった。

翌年、噂を聞きつけ、目の不自由なランナー8人が大会にエントリーした。更にそれを知った市民が立ち上がり「愛走フレンズ」を組織。多伎町ライオンズクラブは2年目からこの「愛走フレンズ」に登録し、以来毎年、目の不自由なランナーのサポ

建国記念の日の2月11日午前

7時20分。前後に愛知県・名古屋

屋駅を出発した夜行バスが、出

雲市駅に到着した。ようやく朝

日が差し始めたバス停には、多

伎町ライオンズクラブ(15人)の坂

根守会長と杉山本先人が待機し、

最後に降りてきた白杖の男性を

出迎えた。

出迎えを受けたのは半谷辰男

さん(75歳)。この日開催される

出雲くにびきマラソンの参加ラ

ンナーで、坂根会長と杉山本は、

半谷さんのサポート役を務める





出雲くにびきマラソンでは、目の不自由なランナー1人に、主伴走1人、補助伴走数人がチームを組んで一緒に走る



乗車券、特急券には点字表示がないため、切符を1枚ずつ確認しながら説明する杉山本

トを続けている。
 今回9年ぶりに参加した半谷さんは、久しぶりの出雲ということもあり、遷宮が終わった出雲大社への参拝を希望。坂根会長と杉山本は列車の時間を見計らいながら、半谷さんを大社へ案内し、その希望を叶えた。

「皆さん、本当に良くしてくれているので、この大会が一番好きです。また来年も来なくちゃ」と半谷さん。伴走だけではない「愛走フレンズ」との触れ合いが、出雲くにびきマラソンの魅力を更に高めているようだ。
 (取材/鈴木秀晃)

337-C地区

佐賀県・伊万里ライオンズクラブ

寸劇や実験で分かりやすく
薬物乱用防止教育講座開催



伊万里ライオンズクラブ(前田吉彦会長/182人)は、伊万里市内の小中学校などに会員が出向き、薬物乱用防止教育講座を開いている。この教育講座では、寸劇や実験を交えた指導をしており、児童・生徒に伝わりやすいと評判だ。

子どもたちに薬物汚染の恐ろしさを知ってもらおうと取り組み始めて3年目。年々希望校が増え、本年度の実施校は12校に上っている。

メンバーが児童や売人などの役を演じ、薬を手渡された際の

対処法などを指導する。そして、代表児童が上手な断り方の例を実演するなど見せ方にも工夫をしている。また、悪い事だと分かっただけでもやっってしまうのは、単に精神的に弱いというだけではなく、断る技術がなかったのだということも教える。外的圧力に対処する方法を学んでもらっている。ただ単純に「いいえ、いいません」と拒否するだけでなく、理由を添えたり、より良い提案を加えたりするなど断り方のバリエーションも教えているのだ。これはライオンズクエ

ストの手法も参考にしている。ガソリンやシンナーを発泡スチロールにかけると実験も実演。発泡スチロールがドロドロに溶け出す様子を見た児童からは驚きの声上がる。こうした実演を通し、「これらを吸うと体の中で同じことが起こり、脳細胞が破壊されてしまう」と危険性を訴えている。

会員一同、全ての子どもたちが、心身共に健全で輝きのある人生を送れることを願って、日々活動している。

(第3副会長/松尾真介)

2015年11月29日、草津ライオンズクラブ(河田健司会長/106人)は草津市三ツ池運動公園グラウンドでびわスポキッズフェスティバルを開催した。

これはびわこ成蹊スポーツ大学スポーツ開発・支援センターが、09年から始めたプログラム。スポーツを通して、子どもたちの可能性を将来の夢に育てることを目的としている。当クラブは開催当初から協賛。また、開催場所の三ツ池公園グラウンドは当クラブが草津市と協力し、芝生を植えたグラウンドだ。

335-C地区

滋賀県・草津ライオンズクラブ

子どもたちの可能性を育てる
びわスポキッズフェスティバル



今年度は永田賢司335-C地区ガバナーが青少年育成事業に力を入れているため、びわスポキッズフェスティバルをびわこ成蹊スポーツ大学との共同企画として開催。通常200人の定員のところを300人に増員し、時間も1時間延長した。

当日は園児から小学3年生までが集まり、それぞれの学年ごとに分かれてプログラムを実施。びわこ成蹊スポーツ大学の学生がコーチとなり各種プログラムを行った。今回の目玉は小学生対象の競技クリニック。サッカー

1、野球、陸上を楽しく体験してもらおう。サッカー指導は元日本代表の小村徳男氏、野球指導はびわこ成蹊スポーツ大学野球部の本郷宏樹監督が担当した。子どもたちは大勢でグラウンドを駆け回り、笑顔になる。それを見て保護者が笑顔になり、またメンバーも笑顔になる。会長スローガンである「笑顔でつながる奉仕の輪」そのものの事業となった。今後も当クラブは地域の方々に笑顔になってもらえるよう努力していく。

(青少年交流委員長/相井純二)

愛媛県・南宇和ライオンズクラブ

長洲園地内に 椿と紫陽花の植栽



南宇和ライオンズクラブ（森岡知昭会長／38人）は1月23日、結成50周年記念事業として、椿35

本を長洲園地に植栽した。この長洲園地は南レク都市公園松軒山地区（愛媛県愛南町御荘平城

区内）の一角に位置している。他のエリアは遊具施設が整備され、約7千本の梅が植栽されて

地元の人々に限られている。そこで植栽をすることで訪れる人の増加を図り、地域の活性化に役立てようと、今回の事業を計画。公園管理者との協議の末、

した。なお、紫陽花60本の植栽は適期である今年3月に予定している。

知名度は高く、年間約2万人が訪れる人気スポットだ。

当日は当クラブ・メンバー22人の他、地元長洲地区老人クラブのメンバーや公園管理者の愛媛県愛南土木事務所及び第三セクター、南レク（株）関係者も参加

が求められる。今後は、これらの課題に応じていくための方策について検討の上、クラブの奉仕活動として、定期的に実践

訪れるのは憩いの場として利用するごく少数の

全員が一緒に「椿の苗が無事に活着し美しく開花しますように」と、念じながら作業を終了

（結成50周年記念大会委員長／二宮利彦）

2015年11月22日、江南ライオンズクラブ（192人）は江南市民文化会館大ホールにて市民の集いを実施。これは当クラブが毎年実施しているもので、今回が30回目の開催になる。芸術芸能などの鑑賞を通じて、市民に貢献している事業である。当日は11月22日「いい夫婦の日」にちなんで金婚式を迎えられたご夫婦88組をご招待。大変喜んで頂くことが出来た。今回は雅楽師である東儀秀樹さんをお迎えして開催。当日は3・3倍という競争率の中、当選した

約1380人が来場した。日本の伝統文化である雅楽と、ピアノやベース、ギターの融合による演奏を、会場いっぱいのお客様が楽しんだ。今回の市民の集いは2部制。1部では平安時代の貴族の衣装で登場した東儀さんが「おぼろ月夜」と「浜辺の歌」を披露。これらの曲は東儀さんの最新アルバム「日本の歌」にも収録されている。和の雰囲気の一部に対し、2部では衣装も黒の上下に。エルビス・プレスリーやジョン・レノンの楽曲に、観客席

愛知県・江南ライオンズクラブ

30回目の市民の集い 東儀秀樹さんのコンサート



は興奮の渦に包まれた。クラブがこの「市民の集い」を実施するようになったきっかけは、1985年に江南市民文化会館が出来たことだ。当時、江南ライオンズクラブは25周年を迎えており、周年事業として、照明施設付時計塔を寄贈した。そして更に多くの方にライオンズのことを理解してほしい、活動を知ってもらいたいと考えたため、この事業を実施することにした。それ以降、毎年趣向を凝らして開催している。

（会長／野田泰義）

335-B地区

大阪天満ライオンズクラブ

「商売繁盛で笹もってこい」
一年の始まりはえべっさんから



新年に初詣に出かけた方も多
いだろう。年明けはお祭りも多
く行われる。関西で有名なのは
1月10日前後に、各地の戎社で
行われる十日戎だ。関西では
「えべっさん」として親しまれ
ている。大阪天満ライオンズク
(24人)が活動拠点としている
大阪天満宮にも戎社があり、天
満天神えびす祭の手伝いを崇敬
者・地域・氏子の皆様と共にさ
せて頂いている。

と大阪は「天下の台所」と言
われ商業の町として繁栄を遂げ
た。この頃からえびす様は商業
の神様としてあつく信仰され、
十日戎は商売繁盛・家内安全・
交通安全にご利益のある祭りと
なつた。

ける神事や福笹の授与などのお
手伝いをさせて頂いた。また、
1月8日早朝から深夜まで北新
地と大阪天満宮を往復する堂島
北新地招福行列に参加。総歩数
が3万歩を超える大行列だが、
これを歩き通す。夜には北新地
の飲食店を訪問し、福笹の授与
やえびす締めなどを行った。今
期当クラブの会長テーマは「感
謝・感動・We Serve」。相互
扶助の心で景気向上の一端にな
ればと願ひ、メンバーはウイ・
サーブの心で活動している。

(幹事/寺井種治)

1月9日、10日、清水ライオ
ンズクラブ(42人)は清水ナシヨナ
ルトレーニングセンターで開催
された静岡障がい者サッカーフ
エステイバル大会を支援した。
以前は16回にわたって知的障が
い者サッカーチームの交流大会
として、静岡県サッカー協会ハ
ンディキャップ委員会により開
催されてきたが、昨年から電動
椅子サッカー、アンブテイサッ
カー、ブラインドサッカーを加
えて大規模に実施。今年はその
シャルフットボールも加わるな
ど、大きな大会になった。当ク

334-C地区

静岡県・清水ライオンズクラブ

さまざまな障がいに対応した
サッカー大会を支援



クラブの支援は9回目だ。
会場にはサッカー解説で有名
なセルジオ越後さんやメキシコ
オリンピックで大活躍された杉
山隆一さんも来場。ブラインド
サッカーでは体験会が行われ、
ソシシャルの部ではフットサル
県大会が行われるなど、2日間
終始笑顔が絶えないイベントと
なつた。

まだ一本足が残っている。これ
で十分出来るんだーと思ってい
る」と語つたことと、電動椅子
サッカーの選手の優勝の弁で
「この栄光をもっとたくさんの
方に見てほしかった」だつた。
障がいを持ちながら前向きに力
強く生きる姿に勇気を頂いた一
日だつた。社会で、より多くの
人が障がいに対する理解を深め、
障がい者が自信を持って社会参
加出来るような仕組みを作らな
ければ、と感じた。当クラブは
その仕組み作りにも今後も参加し
ていく。

(会長/杉山幹彦)

2015年11月27日、高槻グリーンライオンズクラブ（34人）

は高槻小学校6年生を招き、チャリティー茶会を実施した。高槻市・高槻市教育委員会に後援を頂き、中村猛35・B地区ガバナ夫妻にも出席頂いた。

当日、小学生には、最初にお茶を呼ばれるグループと茶筌を振ってお運びするグループに分かれて体験してもらった。終わったら、役割を交代し、双方の立場を経験してもらった。

子どもたちにとっては初体験のことばかり。初めは戸惑って

いたが、手をとって教えてあげると素直に従い、「格好よくなつたよ」と言えば喜んでくれた。

出てきたお菓子のテーマをたずねると、その色から「にんじんや」「大根や」という答えが多かった。そこで季節をイメージしたものだとはヒントを与えると、「もみじ」という正解にたどり着いてくれた。子どもたちと私たちの感覚は随分違うことが分かり、もつと日本の伝統文化を体験出来る機会を作ってあげたいと思った。

当日は市長も参加。子どもた

335-B地区

大阪府・高槻グリーンライオンズクラブ

小学校6年生を招待 チャリティー茶会



ちは、市長の顔を見るなり「握手してください」と歩み寄るなど、普段なかなか交わるのではない市長とも交流していた。

午後からは、一般市民もお茶室へ。点前が始まったら、子どもたちとは違った静寂の時間を味わって頂いた。皆さんお帰りの時に「いい時間を頂きありがとうございました」と声を掛けてくださった。私たちメンバーにとつて、満足感を得ると共に、チャリティー茶会の意義を深く考えさせられた事業だった。

（会長／池下享子）

2015年12月25日、登別ライオンズクラブ（14人）は例会終了後、老人保健施設グリーンコート三愛で、餅つき大会を実施した。施設担当者や打ち合わせの後、13時から約2時間にわたって行ったこの餅つきには、入所者約100人、デイケア利用者約25人、職員約50人を含めた計180人程の方々が参加した。

331-C地区

北海道・登別ライオンズクラブ

老人保健施設で 餅つき大会の実施



げると、会場内から拍手と「よいしょ」のかけ声が掛かり餅つきがスタート。司会役である施設職員の軽妙なおしゃべりの進行、恒例となっているメンバーによる早打ちと合い取り妙技で会場からは大爆笑が起きた。

過去には登別温泉名物シバオケ三平の仮装パフォーマーの餅つき大会を行ったこともある。

入所者の中で元気な方は、若い頃を思い出し、施設の方の手を借りながら一緒に杵を振り上げていた。

つきあがったお餅を前に、事

務長から入所者の皆さんに、「つきあげた餅をのどに詰まらせないように食べて、新年に向けて英気を養って頂きたいと思えます」とあいさつがあり、参加者全員でお汁粉や砂糖じょうゆでお餅を食べた。この時間は和気あいあいとした雰囲気、楽しい時間となった。

参加された皆さんから「楽しかった」「おいしかった」との声を頂いた。当クラブ先輩会員の意志を引き継ぎ、今後も毎年継続していきたい。

（会長／山口賢治）

3分間 ライオンズ アクティビティ編



障害者福祉
聴覚・言語障害者福祉

聞こえない、聞こえにくい人たちのために何ができるか

世界保健機関によると、世界の聴覚障害者の数は2億7500万人にも上ると推定されています。聴覚障害のある子どもは発育に遅れが出たり、成人の場合は就職が困難になったりすることもあります。見た目には障害が分からない故の苦勞もあるでしょう。しかし周囲の理解やサポートによって、障害による不便さを軽減することも出来るはずで

す。ライオンズクラブ国際協会では公認奉仕プログラムの一つとして、「聴力保護・教育及び活動」に取り組んでいます。その内容は、聴覚障害に関する啓発キャンペーンや、聴力検査、不要となった補聴器を収集・メンテナンスをして経済的に補聴器を買えずにいる人たちに無料で配布する補聴器リサイクル・プログラム、レクリエーション・キャンプなどです（詳しい情報は国際協会公式サイトでご覧頂けます）。

日本ライオンズも初期の頃から聴覚障害者福祉に取り組んできました。68年には高知市内のクラブが支援し、四国初の難聴児学級が開設されました。ただ、手話が言語として認められていた現在とは異なり、当時は健常者と同じように発声するための訓練に重きが置かれていたようです。



京都賀茂ライオンズが主催の手話劇コンクール

78年の第61回東京国際大会の閉会式では、ラルフ・A・ライナム国際会長（当時）が聴覚障害者支援強化の方針を発表。これに呼応した八木米次35・A地区ガバナー（当時）を中心に80年、日本初の財兵庫イアーバンクが発足しました。イアーバンクは鼓膜や耳小骨の提供を受けてこれを保存し、移植のコーディネートを行うものです。発足翌年には最初の移植手術に成功。00年には財愛のこだまイアーバンクと改名し、35複合地区が一体となって取り組むことになりました。しかし04年、カナダ

で移植による狂牛病発生の疑いが報告されたことから、協議の末に解散。代わって特定非営利活動法人デフピープルを設立し、聴覚障害者の社会参画を支援する事業を推進、16年にその任務を終了しました。現在日本ライオンズが行っているアクティビティは、ライオンズ・メ

ンバーが手話を学んだり聴覚障害者と交流を持つことで互いの理解を深めるもの、レクリエーションの機会を提供するもの、訓練機材の提供や聴導犬育成支援、これらの複合的事業などさまざまです。

大阪梅田中央ライオンズクラブによる、聴覚障害者を対象としたプリザードフラワー・アレンジメント講習会もその一つ。障害者を受け入れてくれる華道教室が少ないため、クラブが10年間の継続事業として聴覚障害者の講師を育て、彼らが教室を開催するのをサポートしていきます。

京都賀茂ライオンズクラブは98年から毎年手話劇コンクールを主催。万人に楽しんでもらえるように音声のナレーションも付け、手話文化の交流・発展を目指しています。千人にも上る客席からは拍手の代わりに、頭上に掲げた手のひらをひらひらさせて称賛が贈られます。

LCIF FILE

LCIF Development Update

LCIF Development Update

LCIF創設50周年記念目標 後期初年度⑤

1ベル医学生理学賞受賞の大村智氏の発見は、オンコセルカ症予防薬

メクチザンの開発につながり、毎年2億人に投与されています。これと連携し失明撲滅に挑戦したのが、2005年から3年間にわたる視力ファーストIIキャンペーン(CSFII)でした。

CSFIIで日本は5692万円、26円で、平均113円でした。さて、50周年記念目標後期初

年度は7カ月が経過しました。達成率75%以上が、順調に推移した地区と言えますが、格差は広がり、全体では依然として厳しい状況です。そんな中、336・B地区が103.5%でゴール一番乗りを果たし、目標達成目前の334・D、336・A両地区を始め、14地区が75%以上となりました。日本全体は72.5%です。

地区あります。来期に未達分を送り無きようよろしくお願い申し上げます。

なおMJF(千ドル)献金に關して、1月から2点変更がありましたので、お知らせ致します。

- ・20ドル、50ドル、100ドルの献金
- ・会員献金は、MJFの累計寄付額に積算されます。
- ・MJFは1回20ドル以上で分割

献金が出来ます。

(LCIF国際委員、エリア・コーディネーター/澁田繁晴)

LCIF創設50周年記念目標

地区別献金目標額と献金実績・目標達成への必要額(ドル) 2016年1月31日現在

地区	初年度目標額	献金実績	達成率	1人当たり	MJF	目標達成必要額
330-A	296,162	158,358	53.5%	34.46	81	137,804
330-B	550,133	410,041	74.5%	98.35	279	140,092
330-C	109,191	74,555	68.3%	36.93	40	34,636
330複合	958,389	642,954	67.1%	59.63	400	315,435
331-A	301,245	157,000	52.1%	69.19	119	144,245
331-B	143,217	56,145	39.2%	25.00	37	87,072
331-C	61,401	49,216	80.2%	29.88	29	12,185
331複合	512,244	262,361	51.2%	42.58	185	249,883
332-A	94,992	70,490	74.2%	40.28	40	24,502
332-B	98,629	58,940	59.8%	36.38	31	39,689
332-C	125,341	73,145	58.4%	54.71	62	52,196
332-D	189,278	165,940	87.7%	85.62	146	23,338
332-E	62,551	40,279	64.4%	24.28	32	22,272
332-F	41,050	33,130	80.7%	30.51	24	7,920
332複合	622,862	441,924	71.0%	47.06	335	180,938
333-A	155,669	100,060	64.3%	38.51	63	55,609
333-B	114,588	81,183	70.8%	70.72	67	33,405
333-C	201,343	171,320	85.1%	56.01	140	30,023
333-D	150,671	105,919	70.3%	62.82	86	44,752
333-E	296,510	173,170	58.4%	63.46	150	123,340
333複合	955,151	631,652	66.1%	56.30	506	323,499
334-A	1,281,309	1,070,140	83.5%	233.30	1038	211,169
334-B	311,692	184,720	59.3%	59.45	163	126,972
334-C	268,425	204,752	76.3%	68.41	164	63,673
334-D	286,345	281,797	98.4%	74.37	227	4,548
334-E	245,159	145,570	59.4%	79.63	136	99,589
334複合	2,393,389	1,886,979	78.8%	115.74	1728	506,410
335-A	111,712	70,410	63.0%	35.72	60	41,302
335-B	571,240	509,946	89.3%	99.44	409	61,294
335-C	319,259	217,154	68.0%	58.23	153	102,105
335-D	129,468	112,797	87.1%	65.09	83	16,671
335複合	1,135,236	910,307	80.2%	72.47	705	224,929
336-A	275,358	266,850	96.9%	52.72	173	8,508
336-B	115,970	120,058	103.5%	41.31	42	★目標完遂
336-C	251,183	179,241	71.4%	57.08	122	71,942
336-D	147,352	112,520	76.4%	37.21	62	34,832
336複合	829,098	678,669	81.9%	48.02	399	150,429
337-A	388,105	297,840	76.7%	68.85	249	90,265
337-B	176,808	94,736	53.6%	44.04	75	82,072
337-C	196,355	153,832	78.3%	55.12	120	42,523
337-D	126,273	46,680	37.0%	20.94	35	79,593
337-E	83,174	45,380	54.6%	29.76	34	37,794
337複合	993,633	638,468	64.3%	49.03	513	355,165
全国	8,400,002	6,093,314	72.5%	65.12	4,771	2,306,688

500万人の子どもに予防接種を提供した ジンバブエのライオンズ



首都ハラエ近郊の学校でワクチン接種の準備を行うジンバブエのライオンズ

ア

フリカ南部に位置するジンバブエでは、今なお近代的生活とはかけ離れた暮らしを送る人々が多くいる。深刻な病気によって生命の危険にさらされている子どもは、15歳以下で500万人以上いると言われているが、その多くは安価なワクチン接種で簡単に予防することが出来る。

幸いなことに「ニーズがあるところに、ライオンズがいる」。はしかなどの流行性疾患の予防対策には、迅速な対応、人材や多額の資金、そして多方面にわたる協力体制が必要になる。そこでライオンズ

スクラブ国際財団（LCIF）は2013年から「ワクチンと予防接種のための世界同盟（GAVI）」と協力し、世界各地ではしか撲滅活動の経済的支援を行ってきた。

昨年9月には、LCIF、ジンバブエ・ライオンズ、GAVI、それにジンバブエ保健省が協力し、大規模な予防接種キャンペーンを実施。5日間に520万人もの子どもたちが、はしか・風しん混合ワクチンを接種し、ビタミンAのサプリメントを受け取った。キャンペーンの運営は保健省が、物資提供はGAVIが担当し、ライオンズは多く

のボランティアを動員、複数の地域でキャンペーンの周知活動に従事した。

テレビやラジオなどのメディアやインターネットを利用して行われたキャンペーン告知には、LCIF交付金10万

ドルが使用された。また、それらの情報源を持たない家庭に対しては、市場や公共スペースに告知の看板を掲げたり、パンフレットを配ったりした。42地区のヨナ・マチャヤ第2副地区ガバナーは活動をこ

う振り返る。「ライオンズからは大勢のボランティアが参加してくれました。地域住民の反響もとても大きかったです。さまざまな方法で告知を行い、キャンペーン期間中にはその様子をラジオや携帯ショートメールを通じて各地に伝えました」

ジンバブエ保健省の報告によると、キャンペーン期間中全ての対象者が予防接種を受け、90%近くがビタミン剤を受け取ることが出来た。ライオンズの努力の結果だ。

キャンペーンに参加したある両親は次のように話す。

「新聞でキャンペーンを知り、予防接種を受けさせるのは親の義務だと感じて参加しました。家の近くでこのようなサービスが無償で受けられるのは、とてもありがたくすばらしいことです」

はしか・風しん混合ワクチン接種キャンペーンは、ライオンズとパートナーが協力することで、いかに地域住民の生活向上に貢献することが出来るかを象徴するイベントとなった。世界ではいまだはしかと闘っている国も少なくない。LCIFとボランティアは、引き続きGAVIの活動を支援し、同様のキャンペーンを世界各地で行うための資金として3千万ドルを提供、イギリス政府やビル&メリンダ・ゲイツ財団からの資金援助と合わせて総額6千万ドルの活動資金が調達出来た。

はしか撲滅の取り組みについて、詳しくはLCIF公式ウェブサイト (lcf.org/EN/our-work/humanitarian-efforts/measles.php) を参照頂きたい。

(カサンドラ・ロトロ)

電話の向こうにある 支援と希望

ア メリカ・メリーラ
ンド州ボルチモア
に住むウィル・ジ
ャクソンさんは18歳の時に緑
内障と診断された。それから
30年以上、不自由を感じなが
らも、2人の息子とその婚約
者と共に暮らしながら、料理
を楽しみ、公共交通機関も利
用する、比較的普通の日常生
活を送っていた。

しかし最近、文字の読み書
きが難しくなってきた。かか
りつけの眼科医に相談すると、
ライオンズ・ビジョン・セン
ターが実施する低視力者向け
のリハビリテーション指導を
薦められた。ジャクソンさん
はさほどの効果は期待せずに、
とりあえずアイケアの専門家
に会ってみることにした。

数日後、22複合地区が運営
する視力障害者支援組織ライ
オンズ低視力者リハビリテー
ション・ネットワーク（L O
V R N E T）のケン・チャー
元地区ガバナーから、ジャク
ソンさんに電話が掛かってき
た。同組織はライオンズ・ビ
ジョン・センターと提携し、
地域密着型ヘルスケアを実践

地域のアイケア専門家や視覚
障害者の情報を収集し、障害
者に適切な専門家を紹介する
ことで、不足する低視力者向
けのサービス向上を目指して
いる。

チャーによる電話カウ
ンセリングは1時間に及んだ。
特殊カメラや拡大鏡、会話機
能付きの腕時計などさまざま
な補助具があることを知り、
ジャクソンさんは自立した生
活に希望を持てるようになって
た。将来はアメリカンフット
ボールの試合を見たいと
願っている。

も真剣に、親身にいろいろな
相談に乗ってもらいました。
病院とは全く違う。自分が単
なる患者ではなく、一人の人
間として扱われていると感じ
ました」

当初、22複合地区はジョン
ホプキンス大学病院と共同で、
低視力や失明に関する教育プ
ログラムを実施。L C I F 四
大交付金20万ドルを得、地域住
民に対して目の健康に関する
情報の提供と、視覚障害者に
対するリハビリテーションの
必要性について発信してきた。
更に視力ファーストから56
万7647ドルの交付金を受け、
L O V R N E T を設立。より

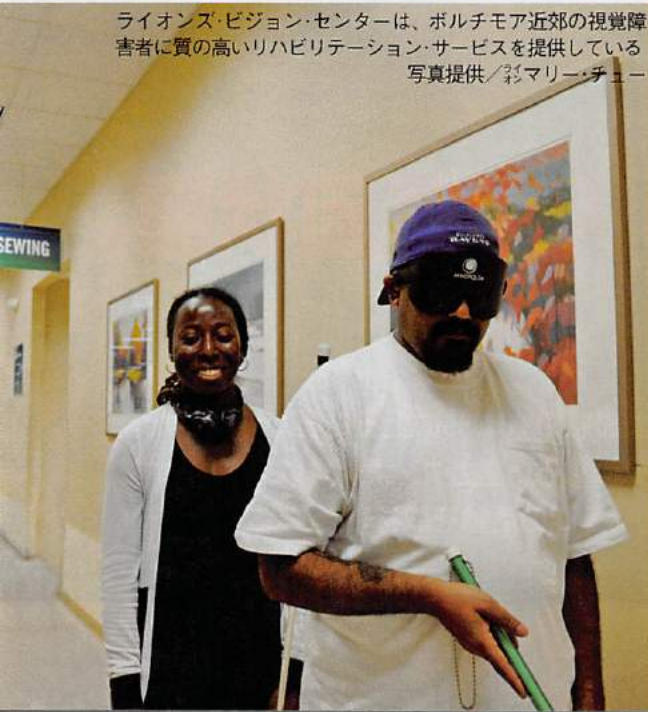
効果的なりハビリテーション
を提供するため、地域の検眼
医や眼科医、アイケア提供者
にトレーニングの実施と支援
体制を強化している。

「私は25年近いライオンズの
一員としての活動を通じ、一
番大切なのは人と人とのつな
がりだと確信します。視覚障
害者が正しい指導者に会い、
適切なリハビリテーションを
実践する一連の過程を見るに
つけ、我々の活動が与えるイ
ンパクトの大きさを実感せず
にはいられません。そして
我々ももっともつと人々の生
活を向上させることが出来る
はずです」

ジャクソンさんの視力は完
全には回復しないかもしれな
い。しかしその生活はずっと
豊かなものになるだろう。ラ
イオンズとL C I F がそばに
いる限り、ジャクソンさんの
未来は明るい。

その他の交付金事業はL C
I F 公式サイト (lcf.org) を、
L O V R N E T の活動につい
ては同ネットワークのホーム
ページ (lovnet.org) を参照。
(カサンドラ・ロトロ)

ライオンズ・ビジョン・センターは、ボルチモア近郊の視覚障
害者に質の高いリハビリテーション・サービスを提供している
写真提供/彩マリー・チャー





特集：子どもの貧困

日本の子どもの6人に1人が貧困状態。 先進国では最悪の部類

厚生労働省の調査で、貧困状態にある18歳未満の子どもが、過去最悪の16.3%に上ることが分かった。6人に1人、実に300万人以上の子どもが貧困に直面している計算になる。豊かだと思われてきた日本社会における「子どもの貧困」。その実態と、子どもの貧困解消に動く民間の活動取材した。取材／井原一樹

写真はイメージ(写真/関根則夫)

貧困状態の子どもは勉強、食事、医療が足りていない

2012年に厚生労働省が実施した国民生活基礎調査によると、子どもの貧困率は16・3%だった。貧困率とは、国民一人当たりの所得を順番に並べた際に、ちょうど真ん中に位置付けられる人の半分(12年は122万円)に満たない所得の人の率である。子どもの貧困率は18歳未満の子の属する世帯の所得をもとに計算されている。

また、ひとり親世帯の子どもの貧困率は先進国の中でも突出して高く、09年の厚生労働省調査によると58・7%にも上る。特に母子家庭の場合、8割以上が就業しているが、その半数が非正規雇用(厚生労働省「平成23年度全国母子世帯等調査結果」)。正規雇用の場合でも男性との賃金格差が大きく、賃金を得ているにもかかわらず、いわゆるワーキングプアに陥っていることが多い。このような状態から日々の食料にも事欠くケースが目立っている。

こうした家庭の子どもは1日の食事が給食のみであったり、カップ麺など安価な食事しか食べられず、栄養バランスが偏ってしまう場合も多い。親が家にいる時間が少ないため、

繁華街が居場所になったり、非行に走ったりするケースもある。

貧困率は親の学歴にも影響を受けているという。内閣府の調べによると中卒の親の家庭では貧困率が45%にも上ることが分かっている。大卒家庭の貧困率は8%であるため、その差は顕著である。そして、中卒の親を持つ子どもの大学進学率は大卒の親を持つ子どもと比べて極めて低い。低学歴のため低賃金になってしまいう親から生まれた子どもが、また低学歴になり、低賃金になってしまいうという貧困の連鎖が大きな問題だ。貧困によって教育を受ける機会を失うと共に、必要な医療行為も金銭的な問題から受けられず、障害を背負うことになるケースもある。栄養バランスも偏り、健康状態が悪いため、就業しても体調の問題で辞めざるを得なくなり、結果、低賃金の仕事にしか就けなくなってしまうのだ。

無料学習支援教室から始まった WAKUWAKUネットワーク

こうした現状に対し、今、子ども食堂や、無料学習支援教室といった試みが、全国的に広がっている。子ども食堂は無料〜300円程度の低価格で、栄養バランスのとれた食事を提供する取り組みである。1月11

日には、東京都豊島区役所で子ども食堂サミット2016が開かれた。

サミットを主催した団体の一つが、東京池袋のNPO法人豊島WAKUWAKUネットワーク（栗林知絵子代表）だ。同ネットワークは11年夏、栗林代表が、塾に通うお金が無い中学生に、勉強を教えるようになったことがきっかけで設立された。が、受験前の追い込みとなる年末年始には、専門の塾にお願いせざるを得なかった。そこで東京都福祉保健局の受験生チャレンジ支援を申請し、20万円を塾代として支給してもらった。この制度は、高校に入学出来れば、全額返却免除になる。しかし、この中学生の母親は保証人がおらず、そのままでは申請出来なかった。そのため栗林さんが保証人となり、地域の人にも相談してカンパを募った。



写真提供/豊島WAKUWAKUネットワーク

すると1カ月で100人以上から約12万円が集まった。協力してくれた人の中には、身近にそのような状況の子がいるのか、と驚いた人が多かったという。結果、中学生は見事高校に合格。20万円は返金しなくてよくなったため、カンパで集まったお金と、地域のつながりが残った。

そこで中学生のサポートでつながった人たちと地域の子を見守るNPOを作り、無料学習支援を開始。現在は3カ所で実施している。また、週1度、登録した子どもたちがお寺でご飯を食べ、宿題などをする夜の児童館という事業も展開。これは他の区で行われていた「トワイライトステイ（夜間一時保育）事業」を参考にしたものだ。

WAKUWAKUネットワークでは他に池袋本町プレーパークの運営も行っている。プレーパークとは通常の公園とは違い、火を焚いたり穴を掘ったりしても良い、自由度の高い公園だ。豊島区が区の70周年を記念して開設したもので、2年目からは地域と共同で運営してきた。

しかし、この事業が10周年を迎える頃、区はプレーパークを廃止し、跡地に公立中学校を建設することを計画。存続が危ぶまれたが、時の豊島区子ども課課長の尽力で、区が新

たに代替え地を確保し、存続出来るようになった。今年度からは新しい場所、同ネットワークが委託を受け運営している。昨年7月には東京豊島ライオンズクラブの協賛でウォータースライダーを1日だけ設置し、子どもたちに楽しんでもらった（本誌2015年9月号掲載）。

子ども食堂の実施と広がり

WAKUWAKUネットワークが運営している子ども食堂は現在3カ所。それぞれ月2回の開催だ。

初めに出来たのは要町あさやけ子ども食堂。WAKUWAKUネットワーク設立時からミーティングに参加していた山田和夫さんが、大田区の子ども食堂を見学し、提案してくれたのだ。この大田区の子ども食堂は歯科衛生士の人が始めたもの。歯科検診などで学校に出入りしていたところ、食事が給食のみという子どもの存在を知って、始めたという。山田さんは自宅を改装。ネットワ

ークのメンバーと共に準備をし、保健所の許可を取った。運営が始まったのは13年の春のこと。その後、徐々に知名度が上がり、テレビや新聞等で取り上げられることが増えていった。これらの報道により、他の

地域でも子ども食堂を開くところが増えてきた。そこでネットワークでは、子ども食堂サミット2015を企画。特に告知をしたわけでもなかったが、口コミやSNSで全国に広がり、大勢の参加者が訪れた。これを機に、更に子ども食堂が全国に設置された。そして今年、1月11日の子ども食堂サミット2016には全国から350人が集まった。このサミットや、各地の子ども食堂が目撃を集めたこともあり、行政でも子ども食堂の設置を検討する動きが出てきた。栗林さんのところにも問い合わせが多くくるといふ。

他の子ども食堂からは本当に子ども



写真提供 青島WAKUWAKUネットワーク

も食堂を必要としている子に情報が行き届いていない、という話がよく出てくる。が、WAKUWAKUネットワークの場合、プレーパーク、無料学習支援、夜の児童館と、子どもに接する機会が多いため、そのどれかに参加した子どもが他の事業にも参加するケースが増えている。

例えば、ある父子家庭の男の子の場合。彼は小さな頃からプレーパークで遊ぶことが多かった。中学3年生の夏休み、プレーパークに来ていた学生ボランティアから、無料学習支援の話聞いて興味を持ち通い始めた。そして、そのおかげもあって、彼は高校に合格したのだ。前述のプレーパークでのウォータースライダー設置の際に手伝いに来た彼は、子どものことを考えて行動する大人の存在に感銘を受けたという。将来はそういう大人になりたいと考えるようになった彼は今、自分の夢を持って前向きに生きている。

また、学習支援に来ていた子どもが子ども食堂に来たり、プレーパークに遊びにきたりすることも多い。遊ぶ場、食べる場、学べる場を同じ団体が運営しているため、子どもたちもいろいろな場所に顔を出し、さまざまな子どもたちや支援をしてくれる大人と交流することが出来る。

他の団体とつながり、情報交換することが大事

一般的に子ども食堂を運営している団体は、それに関わる事業に特化していることが多い。一方、それぞれの地域で遊びの場や学びの場を提供している団体もあるはずだ。そうした他の団体とゆるくつながることで情報交換が出来、必要な子どもへの支援が行き届くようになるのではないかと、栗林さんは考えている。

子どもの貧困問題は、日本ではプレイバシーの関係などで具体的な例が挙げられず、どうしても海外の事例に目がいきがちである。しかし、地域で子どもと関わる立場の人たちは貧困の実態を把握しやすい。そのため、WAKUWAKUネットワークなどの支援団体に参加するのはいわゆる「地域のおばちゃん」が多いと栗林さんは話す。

が、地域のおばちゃんたちは子どもの実態についてはよく分かっているものの、資金や人脈はあまりない。そこで、地域での人脈や資金力があるライオンズクラブと結びつき力を合わせることで、より大きな事業が出来るのではないかと、栗林さんは考えている。その最たる例が、前述のウォータースライダーだ。



写真提供 青島WAKUWAKUネットワーク

栗林さんはライオンズにただ資金面で協力してほしいわけではないと言ふ。立場が違う人たちが協力することで、一つの団体では実施が難しいような事業も可能になり、より多くの子どもたちに良い支援が届くようになるのではないかと考えているのだ。各地に広がりを見せている子ども食堂だが、支援が必要であるにもかかわらず、漏れてしまう子どもも多い。ライオンズを始め多くの団体と協力し合うことで、そうした子どもを一人でも少なくし、子どもたちが安心して暮らせる社会になっ

FWT 330・A地区 日本の子どもたちの貧困改善のため に持続可能な奉仕を模索中

2月20日、東京都内の某所でライオンズのメンバーが料理を作っていた。ここは足立区から委託を受けたNPO法人キッズドアが運営する「居場所型学習室」(通称・居場所)だ。この「居場所」では、登録した中学生が大学生のボランティアから勉強を教えてもらうことが出来る。60人ほどの中学生が登録しているが、定期的に訪れるのは20人ほどだという。

ここは火曜日を除く毎日16時から21時まで開かれており、土日は10時から20時まで。予算はなく、学校給食がない土日は欠食となるため、ライオンズのFWTが支援を買って出ることにした。

この支援を発案したのは小川晶子330複合地区FWTコーディネーター。以前、家族会員の会員増強を推進していた際、家族会員が参加しやすい奉仕が少なく、なかなか入ってもらえないという苦い経験をしたことから、FWTでは女

性の目線で感性を生かした奉仕を模索していた。

女性が共感しやすい支援として子どもの社会問題に着目したFWTは、昨年9月に子どもの貧困についてのシンポジウムを開催。そこでキッズドアと知り合い、この支援をすることになった。国際協会100周年記念奉仕チャレンジのYOUTH(青少年を助ける奉仕)、HUNGER(食料支援)にも当てはまる上、行政の委託であることも、ライオンズとして支援する妥当性を高めている。

330・A地区では昨年12月13日に銀座で22クラブ合同の募金活動を展開。そこで集まった資金で居場所にシステムキッチンを寄贈した。毎週土曜日、そのキッチンで休日分の食事をメンバーが作っている。小川コーディネーターも料理作りに参加している。そこに集まる子どもたちは恵まれていると言えない家庭環境に置かれているが、

明るく、希望を持っているという。一人で家にいることの多い子にとつて、仲間との時間は貴重。また、大学生ボランティアの中には同じような環境で育ち、支援を受けて大学に入った人もおり、それがモデルケースとして子どもたちに希望を与えている。

この土日の食料支援には当然、資金を要する。そこで、その資金獲得のためにレストラン予約アプリ「テーブルクロス」と提携した。これはテーブルクロスを通じて予約が入ると、その店からテーブルクロスに広告費が支払われ、1人分の予約につき1食の給食が発展途上国の子どもに提供されるという社会貢献型アプリだ。使用者はレストランの予約をするだけで支援が出来るため、負担にはならない。また、店側も予約の際に費用を支払うシステムなので、広告費の節減につながるという。ライオンズでは特別にグループを作り、



そのグループから予約が入った場合はこの「居場所」の食料支援に費用が回される仕組みを作った。

FWTでは一過性の取り組みにしないよう、持続可能な支援としてシステム化していくことを念頭に置いている。子どもたちの貧困対策は関心も高い。この奉仕のためならライオンズに入会したいと考えてもらえるような効果のある奉仕を模索している。

*このアプリの使い方等についての問い合わせ先…(株)テーブルクロス
TEL 03・4455・4777

特集：子どもの貧困

社会が変わらなければ、社会問題は解決しない

映画監督の紀里谷和明氏（東京赤坂ライオンズ[※]）はクラウドファンディング（ネット上で寄付を募る手法）で子どもの社会問題に対する啓発を目的に資金を募集した。しかし、目標額に届かずプロジェクトはストップ。世間の関心の低さを目の当たりにした紀里谷は、子どもを取り巻く環境についてもっと多くの人に問題意識を持ってほしいと訴えている。

構成／井原一樹 写真／関根則夫

プロフィール

紀里谷和明（きりや かずあき）

東京赤坂ライオンズ[※]所属。1968年4月熊本県あさぎり町出身。写真撮影やプロモーションビデオの監督などで人気を博し、2004年に「新造人間キャシャーン」を原作とした実写映画「CASSHERN」で商業監督デビュー。09年には「GOEMON」を監督。15年の「ラスト・ナイツ」によってハリウッド監督デビューを果たした。昨年9月に330複合地区FWTが主催した子どもの貧困問題に関するシンポジウムでスピーカーを務めた。

——紀里谷さんは子どもの社会問題について動画を作ろうと、クラウドファンディングサイトMakeで資金を募集されました。なぜ子どもの問題に興味を持たれたのでしょうか。

特に子どもの社会問題だけに興味を持っていてるわけではないんです。今、こうして皆が普通に生きている社会の裏側で何が起きているのか。そこに興味がありました。

どうしてこんなに安く物が買えるんだらう、と考えたことはないでしょうか？ 外食にしろ、衣類にしろ、ものすごく安いものが氾濫^{はんらん}している。でも、その裏側に何かがあるのか、想像している人はほとんどいないと思うんですよね。

結局のところ、低価格を求めるということは低賃金を求めるということなんです。お金を使う側が低賃金で働く人たちから搾取していると言っても過言ではないと思うんです。そして、その低賃金労働の中には子どもたちの不法労働も数多く含まれている。

別に低価格のものを買うことを全面的に批判したいわけじゃないです。もちろん経済的な事情でそういうものを買わざるを得ない人だっています。それは仕方ない。でも、その裏



側で何が起きているのか。それを全く分からないままで消費するのは良くないと思うんです。そこに想像力が至らないから、「安い」という理由だけで低価格の商品を買う。

結局セールで買った衣類はほとんど袖を通さない状態で捨てて、安く買った野菜を腐らせるんです。必要ならいいんです。でも、安さを理由に余計な買物をしているのであれば、それはそれだけ低賃金で働く人や子どもたちから無意味に搾取していることになってしまいます。

——クラウドファンディングでは資金が集まらず、映像制作を断念しました。その前に実施した毛皮反対プロジェクトでは資金が集まりましたが、その違いはどこにあると思いますか。

まず、動画を作るためにそれだけのお金を集める必要があったのか。そういうところから考えてほしいんです。

まあ、変な話、私が自分で制作費を出すことは可能です。それでやっちゃえばいいのかもしれませんが、その場合は結局、「子どもがかわいそう」で終わってしまう気がします。それでは意味がないんです。

社会問題の根本は想像力の欠如なんです。無関心。自分とは関係な

いと思うから、誰も動かない。だから、啓発活動として取り組んだんです。でも、失敗してしまっただ。

毛皮反対プロジェクトの方は賛同を得られると思っていたんです。案の定、成功しました。まあ悪人が分かりやすいですよ。それに動物が毛皮を剥がされるっていうのは、割と誰もが嫌だと思ってしまう。自分の周りにそういう業者の人がいるって人も少ないでしょうし。結局のところ、動物の方がかわいいのかもしれない。

だから、この社会問題に鋭く切り込む映像プロジェクトの第一弾としては成功しやすいと考えた毛皮を取り上げたんです。まあこれは上手くいきました。

それに対し、子どもの社会問題は見えにくい。いじめという言葉で暴力や虐待、拷問を隠している。

いじめで人が自殺したなら、それは殺人なわけですよ。日本では年間3万人の自殺者が出ていて、それっていうのは毎年イラク戦争をやっているようなものだし、本来なら3万人の死者っていうのは国連が干渉するレベルですからね。子どもに限っても何百人と死んでいる。死者数だけで見れば内戦をやっているのと変わらないわけですよ。



そこに対し、無知でいいのか、無関心でいいのか、っていう話なんですよね。

——紀里谷さんは中学生の時にアメリカに渡るなど、さまざまな国で子どもたちの実態を見てきていると思います。どの国が印象的でしたか。

まず、どこの国も子どもの置かれている状況は似たようなものです。立場が弱いですから搾取される側に回ることが多い。

逆に、すてきななと思ったのはキューバですね。別に社会主義が良いということはないわけではない

んですが、あの国は大学まで教育が無料なんです。医療もタダ。食料も住居も支給されます。と言っても、国全体が貧しいんですよ。経済封鎖されていますからね。でも、みんなニコニコしてるんです。子どもたちも。

大事なのはやっぱり、教育と医療ですよ。とにかく子どもたちには教育が必要。本人が望めば大学まで行ける社会にしなければ。そこから彼らはどうなるのかは知ったこっちゃないですよ。そこで墮落していく人のことを支援する必要は全くないと思

っています。だって、必要な教育を受けた上で、彼らを選んだ選択なんですから。しかし、生まれた環境は子どもにはどうしようもない。だから国がシステムを作ってあげないと。

——親の学歴と子どもの学歴の相関関係を指摘するデータもありますね。

そうやって格差が広がっていくんです。今、世の中はほとんど格差社会になっている。

先ほど申し上げた通り、人々は安いのを求めている。安いということとは何らかの搾取がなければ難しい。でも、いわゆる途上国と呼ばれてい



た国が、どんどん豊かになってい
すよね。もう海外に搾取する先を求
めるのが難しくなっています。そこ
で、国内に搾取先を求めます。こ
れが格差の原因だと思います。
搾取された親から生まれた子ども
は経済的にも恵まれていない。教育
を受ける機会がないから、その子も
搾取される側に回ってしまふ。こ
うして貧富の差がどんどん広がって
ってしまふんです。

「町おこしなら日本
で、その時に」
偏差値が一番高い学校を作った方が
いいですよ」
うすれば、教育に熱心な人は絶対そ
こに来る。そこで育った優秀な人材
がその地域の発展に寄与すれば、き
っと人が集まってくるよ。
もし、国で大学まで無料にしたら、
同じことが国でも起こりますよ。日
本は別に石油がとれるわけでもない
ですし、資源という意味ではそんな
に豊かな国ではありません。でも、
地理的条件に左右されない資源があ
ります。それが、人材です。

た人たちがどんどん社会に出てい
たら、日本の競争力は一気に上がり
ますよ。国が無料で教育を施して
くれたことに恩義を感じて、社会に還
元しようとする人も出てくるでしょ
う。
しっかりとした教育を受けて、多
くの人が優秀な人材として活躍し始
めれば、外貨をどんどん獲得して
れる。生活保護が必要になる人も減
るでしょうし、活躍する人が増えれ
ば増える程、納める税金の額も増え
ますよね。そうならば大学までの学
費を無料化するためのコストなんて
すぐに回収出来ますよ。

厳しい労働条件で労働者から搾取し
ている企業の商品を買わないという
選択肢も当然視野に入ってきますよ
ね。そうならば、今ある搾取の構図
も変化してくるでしょう。
ただ、これを今すぐやるというの
はなかなか難しい。だから、クラウ
ドファンディングで啓発活動をしよ
うとしたんですけどね。今の実態を
多くの人に知ってもらうだけでもか
なり効果はあると思うので……。知
ったら動くという人も多いですから。
結局、自分たちの目の前の生活に
ばっかり目を向けてしまっているは
ダメなんです。先日、10年後にはな
くなってしまふ可能性の高い職業に
ついての論文が発表されましたが、
そうならばどんどん貧富の差は激し
くなります。ロボットより安価な労
働力が求められ始めれば、労働条件
は更に悪化し、搾取の構造は強まり
ます。そうなるってしまふと、子ども
たちの置かれる環境は厳しくなるば
かりです。

今出来ることを出来る人がやる。
それが大事なのではないでしょうか。
一人ひとりの意識が変わることで、
何かが変わっていきます。今、目を
背けたり、無関心でいる社会の裏側
にある問題に対し、目を向け、想像
し、考える必要があります。

LIONS NEWS CASSETTE

LCIFの難民援助交付金によるトルコ・ライオンズの活動

内戦が続くシリアやイラクから逃れて地中海を渡り、トルコの沿岸警備隊によって救助された難民たちに、間もなくライオンズの支援物資が届けられることになる。LCIFは118・R地区(トルコ)の54クラブに対して難民援助交付金6万ドルを交付した。トルコのライオンズはこの交付金を用いて、毛布や下着、タオル、衛生用品、飲料水などの物資を詰めたりユックサック2千個を、トルコ沿岸警備隊に贈ることにしている。2015年初頭からこれまでに、沿岸警備隊が救助した難民の数は5万4千人に上る。多くの難民たちは命がけの困難な旅の最中に、故郷からかうじて持ち出すことが出来たわず



トルコのライオンズから学用品を贈られた難民の子どもたち

かな荷物さえ失っているのだ。LCIFは昨年秋、難民支援を目的に20万ドルの交付を承認。国際協会とLCIFは合同で、支援の窓口となる難民問題ステアリング委員会を設置した。

ライオンが見たシリア難民キャンプの惨状

スウェーデン(101複合地区)のライオンズは、トルコのシリア難民キャンプに3回にわたって支援物資を送り、約2千の家族に届けた。現地

に物資を届けたメンバーの一人、トルコ出身のニルガン・ニョルド元地区ガバナーは教育者で、以前トルコの学校でライオンズクエストのセミナーを開いたことがある。シリア国境近くの村にあるその学校の校長から、大勢の難民が押し寄せていることを知らされ、ニョルド元地区ガバナーは行動を起こした。難民キャンプでの体験を、彼女は次のように話している。

「私が出会ったゼルヤは5人の子どもを抱えながら、高齢の女性2人と、両親を失った近所の子ども7人の面倒を見ていました。野原に立てた2張りのテントで、野草を採って食べていました。彼女のたった一つの願いは、家に戻ることです。子どもたちには、何が起きているのか、なぜ空腹に耐えなければいけないのか分かりません。彼らの愛らしい顔に宿るうつろな表情を見て、胸が張り裂ける思いでした。この上ない悲劇です。トルコに避難した250万人の難民の多くは大都市を目指し、25万人がキャンプにとどまっています。彼らの苦境は想像を絶するものです。朝目覚めて温かな食事を取り、子どもたちを抱きしめて学校に送り出すという日常



スウェーデンのライオンズからボールをもらい、笑顔を見せる難民キャンプの子ども

ライオンズの100年の歴史と奉仕活動の足跡を伝え、その真価を物語るストーリーの数々を紹介します。写真とテキストは100周年ウェブサイト (lions100.lionsclubs.org) でも閲覧出来ます。

SINCE 1917



国境を超えるライオンズ

ライオンズクラブ国際協会が1917年にシカゴで結成された時、それは「国際」とはほど遠い存在でした。

設立当初には、アーカンソー、コロラド、イリノイ、オクラホマ、テキサスといったアメリカ中部の州に、2ダースほどのクラブが散らばっているだけでした。しかしライオンズは、自分たちが間もなくその名に恥じない多国籍の集団になるのでは、と思っていました。特に楽しみながら取り組む時、奉仕とボランティア精神は人から人へと伝わっていくものです。

それには長い時間はかかりませんでした。わずか3年後の1920年、ライオンズクラブは真に国際的な存在になりました。アメリカの国境を超えた初のクラブが、カナダのオンタリオ州ウインザーに結成されたのです。

その当時、ミシガン州デトロイト対岸のウインザーはにぎやかな国境の町で、成長著しいこの地方の自動車産業の恩恵を受けていました。自動車のベルトコンベア式組み立てライン発祥の地であるデトロイトには、その年の初めにライオンズクラブが結成されたばかりで、国際協会の

評判は瞬く間に広がっていききました。ウインザーのボランティア精神に富んだ市民はその新たな組織に興味を引かれました。ライオンズクラブを通して



1927年、チャーター授与を祝うメキシコのヌエボラレド・ファンダドレスライオンズ

て、彼らは成長する地域社会に奉仕し、隣人の生活を改善することが出来るのです。

11地区(ミシガン州)の地区ガバナ

アンソニー・メンケは地域のビジネス界の牽引役として知られていましたが、この熱心なリーダーがカナダでのライオンズクラブ結成を実現させようと力を尽くしました。

彼の指導の下、デトロイトのライオンズはウインザーライオンズクラブのスポンサーになりました。新クラブはすぐに行動に移り、ライオンズの情熱を胸にカナダの人々に奉仕し始めます。ウインザーライオンズクラブは後に、視覚障害者の安全を確保するツール、白い杖をカナダの人々に紹介したことで名をはせました。

カナダにウインザーライオンズクラブが結成された後、ライオンズは中国とメキシコにも進出しました。1926年には天津に中国初のライオンズクラブが結成されます。その1年後にはメキシコのヌエボラレド・ファンダドレスライオンズクラブが、国境を越えてほど近いテキサス州ラレードのライオンズの支援により、国際協会に加わりました。今日、ライオンズは200を超える国と地域で、それぞれのクラブを通して恵まれない人々に奉仕しています。世界最大の奉仕組織、ライオンズクラブ国際協会はどこであろうと、ライオンズの心を持った人々の間に広がっていきます。

が、ある日爆弾によって破壊されます。家族や近所の人たちが殺される中、安全な場所を求めて、言葉も何も分からないまま隣国へと避難を余儀なくされるのです。

スウェーデンのライオンズはヤンオーケ・オーケランド元国際理事の呼び掛けに応じて資金を集め、私と夫のレイフ・アーテム・ニヨルド元協議会議長を含むメンバーが、難民の家族に食料と衣料品、衛生用品を届けました。2度目の訪問では特に子どもたちのための靴やクレヨン、画帳、おもちゃなどをたくさん用意しました。それらを受け取った時の子どもたちの喜びにあふれた瞳を、私は忘れることが出来ません。国際協会創設100周年のスローガンは「ニーズがあるところに、ライオンズがいる」。まさにその通りです。最も弱い存在である難民に尊厳を取り戻すために、共に行動しましょう」

会議録

■第2回複合地区I-T委員長【ウェブ】連絡会議（1月18日）①ウェブ会議システム「GoTo Meeting」による複合地区間接続②今後の利用ウェブ会議システム③ServannaとMYLCI④青少年健全アクティビティの全国コンペティション開催への協力⑤第1回I-T専門部会【ウェブ】ミーティング（15年12月25日開催）報告

■第6回複合地区ガバナー協議会議長会議（1月26日）①出席者あいさつ②第99回国際大会登録及びホテル予約についての最新情報③日本ライオンズの一般社団法人化④日本ライオンズ事

務所統合委員会会議報告⑤UNDOC（国際連合薬物犯罪事務所）支援会について（1月20日開催）⑥「倫理委員会」の設置について⑦その他報告事項⑧その他⑨各種会議要録⑩日本ライオンズ事務所運営関係

■【臨時】複合地区ガバナー協議会議長会議（2月2、3日）①臨時会議開催について②一般社団法人日本ライオンズについての協議③公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター関連

■第3回複合地区YCE委員長連絡会議（2月3日）①春・夏期交換(A)派遣生(B)来日生②YCE資金③YCE各関連締切

■第6回ライオン誌日本語版委員会（2月9日）①ライオン誌日本語版の運営②事務所統合委員会③2016年2月号（1月20日見本）9万6600部発行）出来④3月号記事内容の確認⑤4月号以降台割（案）と主要記事予定⑥ライオン誌デジタル化⑦その他

■【緊急】複合地区ガバナー協議会議長会議（2月12日）①緊急会議開催について②「一般社団法人日本ライオンズ事務所」修正版資料の検討③アフリカ・ケニア小学校建設支援について（山田国際会長提案）④2020東京オリンピック・パラリンピック支援⑤公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター関連⑥その他

■第3回複合地区I-T委員長【ウェブ】連絡会議（2月22日）①ウェブ会議システム「GoTo Meeting」による複合地区間接続②今後の利用ウェブ会議システム③ServannaとMYLCI④青少年健全アクティビティの全国コンペティション開催への協力

■第7回複合地区ガバナー協議会議長会議（2月26日）①出席者あいさつ②本日の案件進行について③一般社団法人日本ライオンズについて④アフリカ・ケニア小学校建設支援について（山田国際会長提案）⑤第99回福岡国際大会参加に関して⑥日本ライオンズ事務所統合委員会報告⑦その他報告事項⑧各種会議要録・委員会報告⑨日本ライオンズ事務所運営関係

解散／クラブ名称変更

■解散クラブ

2月11日 岐阜県・大垣南／三重県・四日市U・I
■クラブ名称変更
大分県・挾間↓由布

訃報

■元国際役員

杉仙坊光男（福井中央）
1月10日死去。91歳。83年度334・D地区ガバナー。献眼。

杉富塚浩（茨城県・龍ヶ崎）

2月21日死去。86歳。96年度333複合地区ガバナー協議会議長、333・B（現E）地区ガバナー。

■献眼者

1月11日 杉古川俊隆（埼玉県・岩槻）／杉種田修（鳥根県・安来十神）／杉吉田英毅（福岡県・久留米ちとせ）

◎ライオンとしての多大な功績をたたえ、ご冥福をお祈り申し上げます。



ライオンズの100年の歴史と奉仕活動の足跡を伝え、その真価を物語るストーリーの数々を紹介し、写真とテキストは100周年ウェブサイト (lions100.lionsclubs.org) でも閲覧出来ます。

平和へのビジョン

平

和に対する子どもたちのビジョンほど、世界における調和の必要性を強く訴え掛けるものはありません。しかも、何百万人もの子どもたちが一斉にそれを表現したとしたりどうでしょう。

ライオンズクラブ国際協会は1988年以来、毎年ライオンズ国際平和ポスター・コンテストを開催し、11〜13歳の子どもたちに平和への各自のビジョンを表現するよう呼び掛けています。この国際コンテストには、毎年世界中から40万人もの子どもたちが応募します。地域のクラブがスポンサーとして参加するこのコンテストは、ライオンズの重要な信条の一つ「世界の人びとの間に相互理解の精神をつちかい発展させる」を反映したアクティビティです。

クレヨン、水彩絵具、鉛筆などを用いて独自の平和のビジョンを描き出した作品は、どれも心に訴え掛けてきます。毎年国際大賞受賞者1人と優秀賞受賞者23人が選ばれ、全ての受賞者に表彰状と賞金が贈られます。



1966年度ライオンズ平和作文コンテストではアイゼンハワー元大統領(右)が名誉審査員長を務めた

1988年度の第1回コンテストの大賞に選ばれたのは、戦火に引き裂かれたレバノン・ベイルートのムスタファ・ア・エル・タワジーさんでした。その作品には「Peace Will Help Us Grow (平和は私たちの成長を促す)」というテーマが、バラの花々の上を飛ぶハトによって表されていました。彼は平和というものを知りませんでした。

それがどのようなものか、自分なりのビジョンを表現したのです。

大賞受賞者はイタリア、日本、インドネシア、南アフリカ、アメリカの他、世界中から生まれています。コンテストに応募した子どもたちは皆、その芸術性と独創性をスポンサー・クラブから評価され、祝福されます。若い芸術家の作品にはいずれも、独自の経験、

文化、世界観が反映されています。目の不自由な子どもたちにも、ライオンズ国際作文コンテストを通してそれぞれに平和を表現する機会があります。11〜13歳の視覚障害を持つ子どもは誰でも、毎年平和ポスター・コンテストと同じテーマで短い作文を提出し、受賞を目指すことが出来ます。

これらの起源は共に、「平和論文コンテスト」という名の60年代のプログラムにさかのぼります。67年の国際協会50周年を記念して、ライオンズが14〜21歳の青少年に平和に関する作文の提出を呼び掛け、100万を超える応募が寄せられました。ドワイト・D・アイゼンハワー元アメリカ大統領を名誉審査員長とする国際審査員団は、A・ラッセル・ウォーデルさんを受賞者に選びました。彼はカナダ・ブリテンイッシュニコロンピア州クランブルックの高校生で、その作文は「平和は実現可能か？」と題するものでした。彼の作文には次の一節があります。

「平和への近道は存在しない。人間は自身の社会的、道徳的、知的価値観を進化させることによってのみ、真の平和を実現出来るのだ」

いつか夢が現実となることを願って、世界中の若者たちが平和に対する思いを表現し続けています。

国際大会代議員の資格証明と投票

各クラブは執行役員及び国際理事の選挙と国際会則及び付則改正案に対する票決に参加する権利を持ち、国際大会に代議員及び補欠代議員を派遣してこの権利を行使出来る。代議員が投票を行うには「代議員／補欠代議員資格証明用書式」(左ページ)を提出し、資格審査を受なくてはならない。用紙は大会登録の確認書と一緒に郵送される他、左ページのコピー、あるいは公式ウェブサイトでダウンロードする。以下は、国際本部が配布する「資格証明及び投票についてよくある質問」から主な項目を記載。

資格証明及び投票についてよくある質問

Q 資格証明用書式はどう処理するのですか？

A 権限を持つクラブ役員が、各代議員または各補欠代議員につき一枚ずつ書式を用いて記入し署名をします。代議員／補欠代議員も併せて本証明用書式に署名をする必要があります。この書式の上部分を5月1日必着で、ご返送ください。5月1日以降は、代議員／補欠代議員本人が、記入漏れのない証明用書式の上部と下部の両方を、国際大会に持参する必要があります。

Q 大会センターに到着しました。さて、何をすればよいのでしょうか？

A 5月1日までに大会登録を済ませた場合には、Advance Registration Pick-up(事前登録資料受け取り窓口)で、名札入れ、大会プログラム、その他の登録資料を受け取ります。未登録の場合は、On-site Registration(現地登録窓口)で大会登録を済ませてください。登録後は、Certification(資格証明会場)に進みます。署名がされた資格



2015年ホノルル国際大会の資格審査会場

証明用書式の上部分を5月1日までに本部へ郵送済みの場合は、この書式の下部に政府発行の顔写真入り身分証明書と大会名札を添えて提出します。資格証明用書式の上部分を5月1日までに郵送しなかった場合は、資格証明用書式への署名権限保有者を伴って資格証明会場に行かなければなりません。その際、資格証明を受ける本人と署名権限保有者の両者とも、政府発行の顔写真入り身分証明書と大会名札の提示が必要となります。

Q 書式にクラブ役員の署名がなく、クラブ役員が大会に出席していない場合はどうするのですか？

A 地区役員が、資格証明窓口で資格証明委員会委員の立ち会いの下に、この書式に署名をしなければなりません。地区役員は書式に署名をする前に、政府発行の顔写真入り身分証明書を提示する必要があります。

Q いつ、資格証明手続きが出来ますか？

A 資格証明会場は、国際大会開催中の金曜日から月曜日の毎日午前10時から午後5時まで開いてい

ます。投票日当日の朝は、資格証明の手続きは行われませんのでご注意ください。

Q クラブが報告済みの代議員名を変えなければならなくなった場合はどうするのですか？

A 5月1日より前に、既に報告済みの代議員名または補欠代議員名を変えるには、クラブは国際本部の会員サービスセンターに通知しなければなりません。5月1日を過ぎてから、また大会開催中に、既に資格証明済みの代議員を交代させるには、補欠代議員は代議員の資格証明カードの控えと補欠代議員の国際大会代議員／補欠代議員資格証明用書式の国際協会提出用部分を提示しなければなりません。補欠代議員がこのいずれも持っていない場合、あるいは資格証明を受けていない代議員と交代する場合には、署名権限保有者を伴って資格証明会場に行き交代手続きをする必要があります。万一、クラブ役員と地区役員の両方が2名の異なる代議員のために署名をした場合には、クラブ役員の署名の方が優先されます。補欠代議員と署名権限保有者の両者とも、政府発行の顔写真入り身分証明書と大会名札の提示が必要となります。

Q 投票はいつですか？

A 投票は、大会最終日の午前7時30分から10時30分まで行われます。代議員は資格証明カードの控えを指定の窓口で提示します。電子署名用パッド上に署名をした後、正式な投票用紙を受け取り、投票用のテーブルに進みます。

答えが見つからない場合は、太平洋アジア課にE

メール(pacificasian@lionsclubs.org)、または電話(1・630・468・6988)、FAX(1・630・203・3777)でご連絡ください。



日本 福岡における2016年国際大会代議員/補欠代議員資格証明用書式

(手続きを迅速に済ませられるよう、活字体のローマ字ではっきりと記入してください)

クラブ番号: _____ 地区: _____

クラブ名: _____

市区町村: _____ 都道府県 _____ 国 _____

該当するものを一つ選択: 代議員 または 補欠代議員 会員番号: _____



代議員/補欠代議員の氏名を活字体のローマ字で記入

代議員/補欠代議員の署名

下記署名者は、上記の者が正会員であり、本年度ライオンズクラブ国際大会への代議員/補欠代議員として、当ライオンズクラブにより正式に任命されたことをここに認定する。



役員の氏名を活字体のローマ字で記入

クラブ役員の署名/役職名

2016年5月1日までに、この部分をライオンズクラブ国際協会宛てにお送りください。

(Lions Clubs International · Member Service Center · 300 W 22nd Street · Oak Brook, IL 60523-8842 USA ·

Eメール: memberservicecenter@lionsclubs.org · 電話: 1+630-203-3830 · FAX: 1+630-571-1687)

5月1日を過ぎてからは、この書類をそっくり国際大会にご持参ください。

JA



代議員/補欠代議員控え

日本 福岡における2016年国際大会代議員/補欠代議員資格証明用書式

(この控えを国際大会にご持参ください)

(手続きを迅速に済ませられるよう、活字体のローマ字ではっきりと記入してください)

クラブ番号: _____ 地区: _____

クラブ名: _____

市区町村: _____ 都道府県 _____ 国 _____

該当するものを一つ選択: 代議員 または 補欠代議員 会員番号: _____



代議員/補欠代議員の氏名を活字体のローマ字で記入

代議員/補欠代議員の署名

下記署名者は、上記の者が正会員であり、本年度ライオンズクラブ国際大会への代議員/補欠代議員として、当ライオンズクラブにより正式に任命されたことをここに認定する。



役員の氏名を活字体のローマ字で記入

クラブ役員の署名/役職名

福岡国際大会への道

8

福岡の街をライオンズ一色に染めるパレード



Do for People Do for World

国際大会のハイライトとも言える「インターナショナル・パレード」は、福岡市の目抜き通り、明治通りで開かれます。ライオンズの国際性が最も感じられるこの催しは、世界100以上の国々のメンバー約1万人が民族衣装に身を包み、午前10時から午後2時まで、街中をライオンズ一色に染めます。

空港から15分、博多駅から10分の距離にある九州最大の繁華街天神地区で、幹線道路の交通規制は市民生活に大きな影響を与える可能性がります。パレード委員会ではこのパレードが市民に歓迎され、ライオンズクラブへの興味喚起につながるよう、福岡県警、福岡市役所との綿密な準備作業を進めて

友愛と感動のパレードを
パレードは、世界トップクラスのプラスバンド、福岡精華女子高等学校吹奏楽部が先導を務め、山田實絨国際会長らが執行役員を乗せたオープンカー、オープントップバスで華やかにスタートします。更には陸上自衛隊第4音楽隊の参加も決定。壮大なスケールでパレードを彩ります。全国的に有名な

営のサポートにもご協力を頂けるようお願ひ申し上げます。
ウィ・サーブの精神でつながった仲間の友愛と感動のパレードとなるよう、私たちは引き続き準備を進めてまいります。福岡の街で皆様とお会い出来ることを心から楽しみにしています。(第99回ライオンズクラブ国際大会ホスト委員会/パレード委員会)

そこにはメンバー同士の国境を超えた出会いがあり、市民との触れ合いがあり、街中が感動に包まれる瞬間があります。ここ日本の都市で国際大会が開催されていることを実感し、盛り上がりも最高潮に達することとなるでしょう。
綿密な準備が進行中
パレードの終点は地下鉄で福岡

まいりました。規制エリアに隣接する約2400軒の事業所・住宅を一軒ずつ訪問して協力を呼び掛ける活動や、関係団体との協議など、準備は開催直前まで続きます。参加されるメンバーには「福岡のパレードは最高」、地元福岡の皆様には「さすがライオンズクラブ」と感じて頂くことが目標です。

後続の各国が存分にパレードを楽しめるよう、パレード終了後はぜひスムーズな運



会員増強計画レポート⑦

◎FWT第5会則地域副リーダー報告

◎1月第1位：334-A地区ガバナー報告

1月新会員数ベスト6地区



☆第1位 334-A地区
122人(累計458)増
加藤史典地区ガバナー



☆第2位 336-A地区
121人(累計476)増
橋本充好地区ガバナー



☆第3位 335-B地区
103人(累計598)増
中村猛地区ガバナー



☆第4位 330-A地区
98人(累計385)増
近藤正彦地区ガバナー



☆第5位 334-B地区
91人(累計335)増
印田毅地区ガバナー



☆第6位 333-E地区
82人(累計254)増
下川利澄地区ガバナー

(国際本部集計/1月末現在)



FWT第5会則地域副
リーダー／河合悦子

◎FWTにおける会員増強の取り組み

GLT、GMTと同様な組織として日本でFWT(家族及び女性チーム)が活動を開始し1年余が過ぎました。FWTの今年度の会員増強目標は4万人ですが、問題はFWTの組織自体がいまだにしっかり認識されず浸透していないことです。地区により認識度も浸透度も異なります。しかし前向きに捉えなければなりません。先日の八複合地区正副コーディネーター会議では会員増強に対する非常に積極的な発言と共に各地区の取り組みが発表され、役を担う女性会員の奉仕に対する豊かな感性、熱意に圧倒される思いでした。

会員増強はまず「アスクー」に始まる。特に家族会員増強に力を注ぐことにより、FWTは確固とした軸を持った力強い組織として認識されることでしょうか。家族会員がメンバーとしての実感を持てるような奉仕活動への参加も含め、各地区での会員増強の成果は確実に生まれつつあります。山田實紘国際会長の任期中により良い結果がもたらされることを期待して、FWTのメンバーは活動を展開しております。

◎1月第1位：334・A地区

地区ガバナー／加藤史典

今年度は会員増強、MJFドナルド献金1千100口達成の二本柱の目標を掲げ、特に会員増強は倍増計画3年目の最終年ということで、各クラブに呼び掛けてまいりました。20ゾーンそれぞれが目標を立て、ゾーン・チェアパーソンの指導の下、各クラブの会員増強

担当委員長に独自の増強策をお願いしています。家族会員増強にも重点を置き「奉仕は家族と共に」「家族会員の増強は奉仕の拡大」をスローガンに、

119クラブ中106クラブで家族会員の入会がありました。現在27クラブが倍増を達成するか、あと少しで達成します。達成クラブによれば、会長を中心にメンバー全員の家族会員に対する理解が鍵であるとのことでした。一般正会員の増強については、若手を頭に5〜7人のチームを編成し、根気よく「アスクー」を続けて成果が上がっているかと報告を受けています。会員一人ひとりが「入会したくなるライオンズクラブ」を目指して自分が何が出来てかを考え、行動し続けることが大切と考えています。今後も仲間と共に考え、成果を追い続けてまいります。

東日本大震災 復興だより



●岩手県・陸中山田ライオンズクラブ 中心市街地の復興進む山田町



山田町では現在、ＪＲ山田線の旧陸中山田駅を中心とした山田地区で、大規模な復興事業が進んでいる。まず、裏手の山を削って出た土砂を、大型のベルトコンベアで中心市街地エリアへ運び、２・

８センチ上げ。そこに２００世帯が入る６階建ての公営集合住宅を建設する他、商店街や大型スーパー、ホテルなどを配置することが計画されている。また、この地域を流れていた西川を改修し、高台へ向かって真っ直ぐ上がっている避難路の整備も行われている。

一方、土砂を削り出した山は、公共防災エリアとして警察署、消防署、病院などを置くことになっており、これらは既に建設が始まっている。更にかさ上げ用の土砂を運び終えた跡地は宅地として造成し、復興住宅を建設することになっている。

９月には中心市街地エリアの整備がある程度終わる予定で、そうなれば、町民はもとより町外から訪れる人にも、復興が現実のものとして見えてくるはずだ。ただ、このエリアの近くで営業している仮設商店街では、自分の店舗がどこに移転するのか、いまだ決まっていない店主も多い。商店街の一角にある陸中山田ライオンズクラブの事務局兼例会場も移転先は決まっておらず、個別の復興については、まだまだ先が見えない状況が続いている。

その陸中山田ライオンズクラブは現在、毎月第１・第３月曜日に例会を開き、徐々に以前のような活動が出来るようになってきている。最近では、山田湾に浮かぶオランダ島の環境整備活動に参加した。

オランダ島の正式名は大島で、鎖国中の１６４３年、暴風雨のため仲間の船とはぐれたオランダ船が島の近くに投錨したこと、オランダ島と呼ばれるようになった。震災前は「東北唯一の無人島の海水浴場」として人気を集めていたが、震災以降は閉鎖されたままとなっている。クラブではこの海水浴場の復活を願って、

活動を主催する「心の絆の会」（会長／阿部吉衛）や有志の町民らと共に、倒木撤去やごみ拾いなどを実施した。

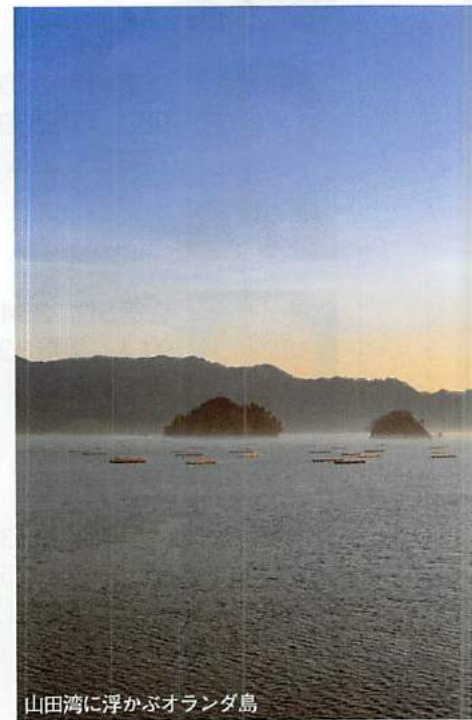
こうした独自のアクティビティとは別に、震災後は、復興支援事業でつながった他クラブとの交流が続いている。青森県・弘前東奥ライオンズクラブは毎年秋の山田八幡宮神幸祭に合わせて、弘前市のよさこいチーム「ＡＯＭＯＲＩ花風桜組」を伴い５年連続で山田を訪問。会員同士、兄弟分のような関係を築いている。また同じ青森には、震災の時、いち早く支援に駆け付けてくれた姉妹クラブの平賀ライオンズクラブもあり、こちらも毎年山田を訪問してくれ、交流会を持っている。

更に32・B地区の復興プログラムとして、山田の支援クラブとなった北上国見江釣り両クラブとの交流も継続。震災から丸５年目を迎えた3月11日には、両クラブ・メンバーが山田を訪れ、3クラブ合同で震災の犠牲者を追悼した。

（取材／鈴木秀晃）



復興事業が進む旧陸中山田駅前



山田湾に浮かぶオランダ島

ちさか・せいいち 1948年宮城県大崎
市生まれ。薬剤師。83年チャーター
メンバー。11年度クラブ会長。今年
度クラブ幹事。

痛みを抱きつつ、未来へ向かって

千坂 清一

(岩手県・陸中山田ライオンズクラブ)



キャビネットの支援により設置されたプレハブの事務局兼例会場の前で、佐々木政昭会長らと共に（左から二人目が千坂）

震災前は海から100m程離れた国道沿いで薬局を経営していました。あの日、私は2坪強の調剤室、二人の従業員は店舗、家内は2階の自宅で遅い昼食を取りくつろいでいました。そこへあの揺れが予想外に長く強い揺れに店では化粧品品の瓶が割れ、従業員の悲鳴が聞こえてきました。調剤室でも棚やロッカーが倒れ、飼っていた猫が飛び込んできて私の足元をすこい速さでグルグル回りました。初めて見る行動で、恐ろしいことが起きると動物の本能で察知していたようです。ようやく揺れが収まった後、すぐに店を閉め、家内には近所に一人で暮らす義母（当時93歳）を連れて避難所である役場

に行くよう、従業員にはすぐに自宅に帰るよう指示しました。

義母、家内と私の3人が役場の中庭に避難してから約30分、周囲が異様な雰囲気に見え、何人かが海の方向を見て息をのむような声にならない声を上げていました。屋根が左から右へ、かなりの速さで動いていくのです。周囲には黄色い煙が上がっていました。後に、大津波が建物を根こそぎ破壊していたのだと分かりました。

それから町内の一角で発生した火事が一晩かけて広がる様子を、役場の敷地内から呆然と見ていました。翌12日の朝に見た山田町はがれきの山と焼け跡、それに異臭が加わり、とても現実とは信じられませんでした。

その後は避難所暮らしをしながら、町内の医師たちが始めた臨時の診療所を薬剤師として手伝い、震災1カ月後、店を流された町内の4薬局で薬局を立ち上げ、現在はある薬局の社員として働いています。この間、たくさんのお客さんとの接触がありました。すさまじい体験を涙ながらに訴える人の多さに震災の大きさを痛感し、共に涙し、ただ傾聴する日々で、それは今日も続いています。

クラブではメンバー22人のうち17人が被災し一人が亡くなりました。例会場所

も無くなりましたが、地区キャビネットの支援でプレハブの事務所がいち早く完成し、我々の心と体のよりどころとなりました。

震災から3カ月後、新年度のアクティビティとして町内の被災した小学生に「将来の山田」をテーマに絵を描いてもらい、それを他都市のショッピングセンター等で展示してもらう事業を企画しました。合計370点の作品が集まり、京都薫風、弘前東奥、北上国見、江釣子各クラブのご協力で、京都市、弘前市、北上市で12年1〜3月に、「夢、希望、そして未来へ」と銘打った絵画展が開催されました。

更に京都薫風ライオンズクラブのお力添えでイオンモール株の協力が得られ、絵画展は全国100余りの店舗に広がりました。また、絵を描いてくれた小学生のうち100人と共に、イオンモール盛岡で展示会を見学したことも良い思い出です。震災から5年を経た現在、あの時彼らが描いてくれた海辺で働く人やモダンな建物が実現しつつあることに感慨を覚えます。今後も次代を担う彼らに対して大きな責任を抱きつつ、地域に貢献していきたいと思えます。

震災直後から全国クラブにご支援を頂き感謝申し上げます。



洞水
存水
丁

Where's Lions?
ライオンズを探せ!

@

富山県・入善町

未来へ、夢と希望を運ぶ タイムカプセル

入善ライオンズクラブが、クラブ結成

15周年の記念事業として入善町総合運動公園の敷地内に「立志の塔」を建立したのは1984年のこと。立志とは、人生の志を立て、これを成し遂げようと決心すること。数えて15歳、かつての成人を意味する元服の儀式にちなんだ塔が完成すると、その翌年からクラブはユニークな取り組みを始めた。

入善町内の中学3年生一人ずつに将来の夢や希望を紙に書いてもらい、それを「立志箋」と名付けて塔の中に格納するというもの。つまり立志の塔とは、中学生の夢や希望を詰め込んでおくタイムカプセルなのである。中学生にとっても3年生になってすぐに立志箋を書くことは、自分の将来や進路を考えるきっかけとなり、大人としての自覚を促す良い機

会となっているようだ。

塔が出来た当時、町内には三つの中学校があり、約1500人の生徒がいたが、少子化により5年前に1



校が廃校となった。それでもこの30年間で1万3636人分の立志箋が学校ごとに箱に収められ、塔の格納庫

に保管されている。

格納庫の扉の鍵はクラブが管理するが、扉を開けるのは年に一度、その年の中学3年生が立志箋を格納する時だけ。事業を始めてから毎年立志箋を預かるが、開封希望は2005年になるまで一度もなかった。

立志箋を初めて開封したのは、廃校となった中学校を1990年に卒業した若者たち。30歳になるのを機にクラス会を企画していた時に、立志箋を開封しようという話を持ち上がった。開封にはライオンズが立ち会い、塔から35人分の立志箋が入った箱を取り出して立志の塔の前で受け渡し式も行った。箱を受け取った男性は、さすがに15年前の自分が何を書いたかまでは覚えていないと話していた。その後開かれたクラス会では、参加者それぞれが15年前の自

分と再会し、感無量の思いに駆られたことは想像に難くない。

取材／砂山幹博 写真／宮坂恵津子

富山県・入善ライオンズクラブ（鍋嶋太郎会長／69人）は1969年10月6日結成／入善町の黒部川扇状地の扇端部、海岸近くの湧水地帯に「沢スギ」と呼ばれる天然の杉が密生する。沢スギは積雪の重みで枝が地表に着地し、そこから発根した何本もの幹が伸びる独特の景観を作り出している。1970年頃には約45畝あった沢スギの林も、そのほとんどが水田に姿を変え、現在はわずか2・7畝ほどが残るのみ。国の天然記念物にも指定されているこの沢スギの環境を守るため、クラブでは地元中学生と合同で雑木の伐採や下草刈り、遊歩道の清掃などを行っている。

Close up

自慢の脚でスタンドオフの ポジション守りたい

中学までは剣道部で、高校でも続けるつもりでしたが、同級生に誘われラグビー部に入部。以来、ラグビーの魅力にとりつかれ、今も身体に鞭打ってプレーを続けています。所属しているのは、福岡を中心に九州

内外から40歳以上のメンバーが集う歴史あるクラブチーム。80歳を過ぎても試合に出ているチームメートもいるほどで、部歌の歌詞に「40、50ははなたれ小僧」とあるのもうなずけます。

もともと福岡県はラグビーの競技人口が多く、小学生から中学、高校、大学、社会人やシニアに至るまで、各世代でかなりのチーム数があり、他の地域よりは身近なスポーツかもしれません。そんな土地柄のせい、世界中から35歳以上のラグーマンが集まる大会「ゴールデンオールデイーズ・ワールドラグビーフェスティバル」が2012年にアジアで初めて福岡市で開催されました。

この時、私も初めて参加しましたが、これが本当に楽しかった。スポーツの大会というよりはお祭りなんです。例えば、試合で激しいプレーをしようものなら審判



がすかさず笛を吹き、「あなたちよっとプレーが激しすぎます。あちらで一杯ひっかけてきなさい」というジャッジが入ります。トライが決まると、グラスに酒をついで

「飲め飲め」と外野が寄って来るのが当たり前。もとかくユニークな光景が目につきました。もう病みつきになり、今年16年にウェールズで開催される大会にチームで参加する予定です。

ラグビーは横のつながりが特に強いスポーツ。知らない人同士でもラグーマンというだけで話が盛り上がる。それは国境を超えても同じだと実感しています。ライオンズも横のつながりは強いけど、ラグビーの方が強いんじゃないかな。

ここ20年ほど、週末に少年クラブチームの中学生にラグビーを教えています。一緒になって河川敷をかけずり回っているから、脚には今も自信があります。3年前に7秒台になってしまいました。50メートル走ではずっと6秒台をキープしてました。だから所属チームでも重宝されています。実はうちのチームは、元ジャパンの選手もいるそこそこの名門なんです。目下の目標は60歳代のチームで、スタンドオフのポジションを死守することかな。

■山田秀明

やまだ・ひであき 1953年久留米市生まれ。(株)DEN建築設計事務所代表取締役。シニアラグビーチームの名門「迷惑倶楽部」でプレーする傍ら、週末には中学生にラグビーの指導を行う根っからのラグーマン。93年、久留米有馬ライオンズに入会。2015年度クラブ幹事。



獅子吼

コーヒーを通じた ネパール児童教育支援

山本 政人（福岡博多東）

1998年、福岡博多東ライオンズクラブ30周年、並びに福岡那の香ライオンズクラブ結成の記念事業としてネパールの児童教育支援がスタートしました。首都カトマンズの西200^キに位置するカスキ郡ニルマルボカリ村は人口7千人の寒村でしたが、時のカマル・モハン・ポウデル村長を中心とする村民の念願に応えるべく、小学校の建設に着手しました。

校舎建設にLCIFを活用出来た意義は大きく、同時に重い責任を伴いました。これを全うするためにクラブ・メンバーを理事会構成員とするNPO法人福岡・ネパール児童教育振興会を創設。10年後に村人による自立運営を実現させることを目標として、指導に当たってまいりました。

99年7月に6教室、生徒119人で開校した「福岡ニルマルボカリ小学校」は18年目を迎えた現在、幼稚園2教室、小学校5教室、中学校3教室、高校2教室に加え、図書館、コンピューター

室を擁する堂々たる学校になり、校名も「福岡ニルマルボカリ学校」と改まりました。ネパールの教育課程は小、中、高校の10年間で、高校卒業後2年の上級教育を経て、世界標準の大学への進学、海外留学の資格が得られる制度となっています。現在300人が学ぶ同校の特色は、私立学校として英語教育とコンピューターの技術習得に力を入れていて、世界とチャンネルをつなげる方針を立てています。そのためキム・ラル・バンダリ校長を中心に、20人の教師及びスタッフが熱心に汗を流しています。

当初の契約により99年7月の開校から10年間、中学校と高校の施設拡充費用を加えると3千万円超を日本側の支援で賄ってきました。これを確保するためにさまざまな資金獲得事業を実施。またNPO法人の会員を始め、24の一般企業及び団体のご理解とご協力を得ました。特筆すべきは福岡を中心に35ものライオンズクラブから資金協力を

賜ったことです。35クラブのウィ・サープの精神に感謝しています。

開校4年目の03年からは、10年間の運営支援終了後の自主運営実現を目指し、村人によるコーヒー栽培に着手しました。ネパールが歴史的に紅茶文化の国であることは知るところでしたが、あえてコーヒーに着眼しました。販売先として、世界第4位のコーヒー消費国である日本市場を想定。原料の全量を輸入に依存する日本のコーヒー業界に希望をつなげました。

05年、ニルマルボカリ村産コーヒー250^キが初めて日本に輸出されました。コーヒー栽培の指導には専門家の力が不可欠です。05年から国際協力機構（JICA）の事業協力でステップアップし、14年には第2次JICA協力を得て品質改善も進み、生産量も増えてきました。今日では村産の3千^キ全量が日本へ輸出され、学校運営を下支えしています。

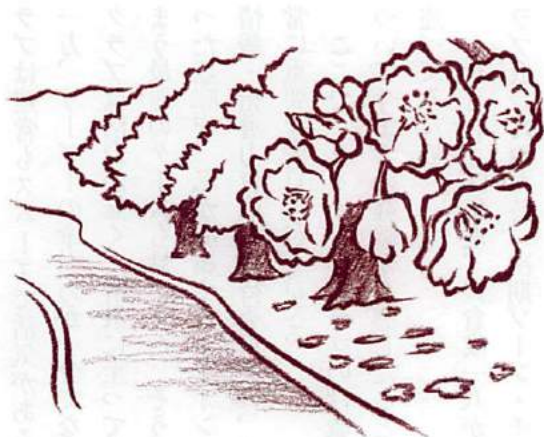
98年以来今日まで、毎年クラブ・メンバーが現地に足を運び交流と支援を続け、NPO法人の代表は50回を超え、訪問をし、ネパールと日本の相互信頼のために尽くしてきました。この間、ネパール王宮事件や、政治問題で混沌とした時期もありました。そうした中、地道な支援活動がネパール政府の知る所となり、福岡市に「在福岡ネパ

●獅子吼(ししく)

- ①私が説法するのを、獅子が吼えて百獣を恐れさせる威力に例えていう語。
- ②大いに熱弁をふるうこと。(広辞苑)

●投稿要領:

会員及び家族によるエッセー、提言など。1,600字程度



イラスト/小川和政

「ル名譽領事館」が開設され、初代名譽領事に福岡博多東ライオンズクラブのメンバーが任命されました。98年当時、10人程度だった福岡在住のネパール人留学生は、14年5月現在で2533人と、中国人留学生に次ぐ第2位の人数となりました。やがて彼らは日本の理解者として、両国の友好と親善に大いに寄与するものと考えています。

15年4月25日に発生したネパール中部地震(M7・8)は、福岡ニルマルポカリ学校にも打撃を与えました。人的被害は無かったものの、建物のダメージは大きなものでした。この時、株大林組が社員のネパール人建築技術者シヤレスト・スボダ君を公務扱いで現地に派遣してくださいました。現地で改修対象を確認し、見事に対処法を

面に示してくれた彼は、18年前に学校の建設場所を決める時に現地を案内し、設計にも関与してくれた福岡在住の留学生でした。彼が大学を卒業後、大林組に採用され、今回の働きをしてくれたことは天命でしょうか。更に337・A地区内26クラブがこの改修工事の資金援助に協力してくださったことに、当事者クラブとして深く感謝申し上げます。工事は昨年7月に着工、10月末日までに完了しました。

支援開始から18年目の今年、「一杯のコーヒーが、ネパールの子どもの笑顔に」をテーマに取り組んできた当クラブの活動を、世界中のライオンズの仲間知って頂けるチャンスをご頂きます

ライオンズクラブの 役職について思うこと

ライオンズクラブ情報委員会の仕事は、会員に対してクラブの歴史や人事、地区や国際協会の組織や現状を知らせること。一方PR委員会は、対外的に情報を発信する。また、指導力育成委員会は会長の指導力を補佐し、各委員

た。記念すべき第99回福岡国際大会の会期中、天神中央公園で開かれるライオンズ・マーケットや、マリンメッセ福岡の展示ホールで、ネパール・コーヒーを紹介する場を頂いたことは、この上ない名譽であります。コーヒーのパッケージは美術家志望のネパール人留学生がデザインしたものです。当日は九州産業大学在籍のネパール人留学生を始め、現地を体験した学生が皆様をお迎え致します。ぜひ会場にお運びください。

※NPO法人福岡・ネパール児童教育振興会のフェイスブック・ページで本事業に関する動画をご覧頂けます

(03年入会/会長/62歳)

吉武勝(大分県・玖珠)

会が活発に活動を続けられるように指導する任務と、将来のリーダーを育成する役目とがある。

リーダーの育成はクラブにとって最も重要な課題であり、リーダーシップを発揮出来る人材が複数人存在するク

クラブは運営もスムーズで活気がある。一方、リーダーの牽引力が十分でないクラブは活力が無く、解散に至ってしまう最悪のケースも見てきた。そういった意味で、私が所属するライオンズ情報・指導力育成・接待委員会は、非常に重要な委員会だと言える。

ここで、ライオンズクラブの役職について今までの経験から感じたことを述べてみたい。

1985・86年度、倉成一八がクラブ会長だった時、次期ゾーン・チェアパーソンに決まっていた横山幸信からクラブ幹事だった私に、ゾーン幹事やってほしいと打診があった。自分はまだライオン歴も浅く若輩ゆえ会長に相談したところ、

「依頼者は相手を見込んでのことだから、よほどの理由がない限り受けなさい」とおっしゃった。

そして翌年度、私はゾーン幹事の役を受けた。横山ゾーン・チェアパーソンは、

「会員は決して安くはない会費を払っているのだから、例会出席と奉仕活動のみではもったいない。入会した以上、何の役でも良いから受けて勉強することに意義があり、楽しさも分かる」と教えられた。とはいえ自分は元来マイペースな人間。役職などは苦手な

性格である。それでも倉成会長の言葉を胸に、これまでゾーン・チェアパーソン、地区委員長、リジョン・チェアパーソン等の役職を受けてきた。ライオンズの役を受けるのは、正直なところ最初は誰でも「嫌だなあ。出来ればやりたくないなあ」と思うかもしれない。それでも「YES」と返事をしてやらざるしかない。そして年度が終わる頃になって、ようやく要領が分かってくる。その間に支えてくれた仲間の意

外な才能、人柄に感激し、喜びが湧く。また、多くの友というかけがえのない財産を得ることが出来るのだ。

今、私は、人生の糧となったこれらの経験を得られたことに感謝している。まさに「顧みて燃えにし頃は輝けり」の心境である。メンバーの皆さん、積極的にライオンズの役を受け、燃えてください！

(81年入会/ライオンズ情報・指導力育成・接待委員長/71歳)

プロジェクトL 町民1%献血への道

大谷 健治（北海道・由仁）

◆敗北から

献血ひまわり号が来町した2014年12月25日。クリスマス当日であるこの日は案の定、人出はまばらで献血者は35人に留まった。敗北である。このままでは目赤から、

「ひまわり号派遣では40〜50人献血が目安です。由仁町さん、最近厳しいですよね」

◆決断の時

当クラブでは年に3回の献血を実施している。次回は4カ月（女性が400ミリットル全血献血をした場合に必要最低間隔）を挟み、4月30日。月末ということからも、集客上良い日ではない。前日にはクラブの柱事業の桜植樹祭もある。しかし、ここは献血奉

と、引導を渡されかねない。しかし敗北を教訓に、由仁ライオン

仕活動存続へ決断の時だ。

「会長、ご決断を！」

三役会に悲鳴が上がる。

「よし、分かった。「ねばーるくん」(会員が勤める納豆メーカーから献血の景品として提供される納豆をクラブ内でこう呼んでいた)に出動要請だ！」

「チラシに町内放送だ！」

決断は下された。三役会会場「鳥セイ」の外には漆黒の帳が降りていた。

◆THE DAY

その日、第1会場の町役場ロビーは人であふれていた。町職員、各団体関係者や町議まで。これは大変、「ねばーるくん」が足りない。町長が眼前を通り過ぎる。拍手が湧き、花束が渡される。2期8年を全うしたT町長退庁セレモニーであった。セレモニー終了と



同時に人混みが霧散していく。

「イカーン！ 乙作戦発動！ 丙作戦準備！」

庁舎内に、近隣事業所に、動員指令を持って「密使」が走る。……しばしの静寂の後、続々と人が集まり始めた。初めての方も多し。協力者に配布される「ねばーるくん」を追加発注。各位置へメンバー配備、計画実行！

16時、作戦終了。受付来場七十余人、受付通過66人、採血者55人。総採血量

ライフワークとしての山づくり

カラマツ林の伐採跡地であった古里の山(8ヶ所)で、1994年から植林を始めました。職業が測量業、土地家屋調査士業であるため、よく山林に出掛けます。もとより山が好きで木に興味がありました。

山の専門家である友人に相談しますと、森林組合に入った方が良いとのアドバイスを受け、早速、組合員になりました。

最初に、3年で植林を完了するとい

2万2千リットル。ひっきりなしに來客を受け付けた日赤職員、ひたすら採血に努めた看護師から拍手が湧く。

「由仁町人口は5581人です。0・985%の献血率です」

「四捨五入だ！」
会長最後の指示が飛ぶ。……かくして、町民1%献血は達成された。

ひまわり号の皆様は、何よりも献血に来てくださった皆様に感謝。

(08年人会/クラブ幹事/59歳)

室野 和行(北海道・苫小牧ハスカップ)

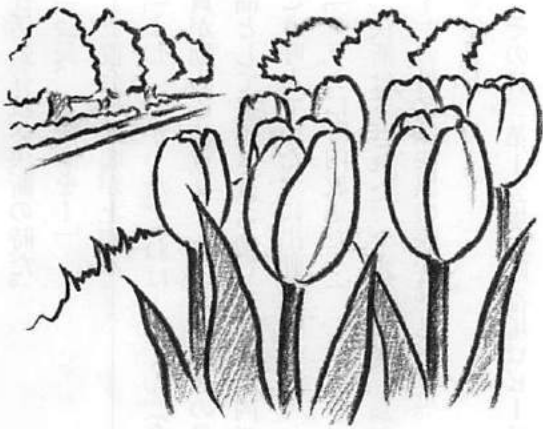
う計画を立てました。地ごしらえは自分で行いました。5月の連休は、古里の親の家に泊ってもらい、プロパンボンベを背負い山焼きをしました。植林は森林組合にやってもらい、1万8千本ほど植え付けました。木はトドマツ、カラマツ、ミズナラ、ヤチダモ等。しかし山づくりは植えたら終わりではなく、そこからが始まりです。まず5年ほどは下草刈りをしなければなりません。枯れる木、鹿に食べられる木、鹿

の角研ぎで樹皮が無くなる木もあり、補植が必要となります。

その後、失火で大事な木を1・5鈴も焼いてしまいました。その時経験したのは、翌年になると雑木は芽が出てくるものの、松等は再生しなかったこと。そこでその後の植林は、雑木のミズナラにしました。また自然に発芽する雑木、または萌芽するものは残すことにしました。

それからは自らの手で、08年は1880本、09年は780本植え、植林は7千本に達しました。「ムロノ遊林」と命名。リスがすめる林にしたいと思っています。

08年5月に、待望のプレハブの山荘を建てました。週末泊まることが出来、



人生を楽しんでいます。将来はこの山で木彫りをするのを夢見ています。08年と11年に孫が生まれたので、この子たちを連れて、山、木の良さを語り歩くことが出来たなら……還暦を過ぎたジジの希望であります。

ムロノ遊林には電気が無く不便ではありませんが、何とも言えない気持ち良さを味わっています。ロウソクの明かりは良いものです。湧水で冷やしたビールを飲み、取り立ての山菜をつまみにして、友人、仲間と語り合える山荘があります。小さな幸せを感じています。小鳥がさえずり、小川のせせらぎが何とも言えません。行水の出来る沢があり、五右衛門風呂も設置しています。夏は、草刈りに追われます。冬は間伐、枝払い、小屋の修繕と仕事はいくらでもあります。

15年11、12月は、小屋周りの清掃、焼却、ネズミ駆除の葉まき、フジ製造り、シイタケ・ナメコのホダ木切りに薪つくりと、思いつき次第作業を進めました。2月末までにはホダ木作りの作業を完了させる予定であります。皆さんも山遊びをしませんか？ スバラシク楽しいですよ。知人が「(室野は)幸せだな」とつぶやいていました。

今、5坪四方の小屋の建設にかかっています。ユニボの入る小屋か、木彫りのための小屋になるか？

15年5月、孫・美咲の入学祝いにアカエゾマツ30本の記念植樹をしました。来春には山荘のそばにトイレを設置します。間伐、ツル切りをします。66歳の青年は思いつくことを実行していきます。楽しい作業が次から次とあります。健康であることに感謝！感謝！！であります。次に何をしましょうか……。16年は楽しみですよ、人生を!!! 1月2日には娘・あかねから、結婚するとの報告がありました。なんと重大報告、うれしいことなり。これだから人生楽しいです。

(91年入会/チャーター・ナイト25周年式典・会場委員長/66歳)

お仏壇・仏具はやっぱり京都



若林

伝統工芸 京仏壇・京仏具

京都本社 〒600-8218京都市下京区七条通新町東入 ☎075-371-3131(代)
 京都店 〒146-0081東京都大田区仲池上2-8-13 ☎03-3755-8488(代)
 築地店 ☎03-3546-8228(代)
 札幌店 ☎011-512-3455(代)
 仙台店 ☎022-213-0666(代)
 近江草津店 ☎077-564-1011(代)
 福岡営業所 ☎092-761-3737(代)
 新潟営業所 ☎025-255-0868(代)

◎お仏壇のカタログ
 差し上げます。
 ◎お近くの若林各店
 までお気軽に。

京都ライオンズクラブ会員 若林正博

ふるさと探訪

新潟県 妙高市 取材／鈴木秀晃 写真／田中勝明

地域のオンリーワンを守る 雪国妙高の心意気

毎時6斗もの水量を誇る清澄な湧き水が、
妙高市猿橋の蔵元・鮎正宗酒造を支える

妙高

MYOKO



鮎正宗酒造

豪雪がもたらす 酒食のオンリーワン

妙高市の中心、新井の市街地から南へ約10キロ。長野県飯山市へ抜ける飯山街道（国道292号線）沿いの山あいに、かやぶきの建物がある。

明治8（1875）年創業の鮎正宗酒造だ。蔵の下からは酒の原料となる柔らかな水が、こんこんと湧き出ている。この辺りは豪雪地帯・妙高の中でも特に雪が多く、それらが伏流水となって湧き上がっているのだ。大自然に育まれた湧き水を口に含むと、まるでややかな甘さを感じる。典型的な軟水で、鮎正宗酒造はそれを

仕込み水に、さらりとした甘口の日本酒を作っている。淡麗辛口が主流の新潟にあっては珍しい存在だが、山あいに建つかやぶきの蔵元にふさわしい、ほのほのとした印象を与え、お酒となっている。

また最近では、雪中貯蔵酒や女性に人気の発泡性清酒、ピンク酵母を使った色付きにこり酒「SAKURA」など、独自の商品開発に力を入れていることでも知られる。昨年夏には、上越市と妙高市の若手の酒屋12軒が合同で取り組むプロジェクト「酒らほ」とのコラボで、杉樽で仕込んだ「シターカスク」を発売。これは即日完売となる人気ぶり、今夏の再登場が待望されている。

鮎正宗の取材後、市街地へ戻って酒らほの一員・やまぎし酒店を訪ね、そこで撮影に協力してもらえそうな店を紹介してもらい、妙高らしい地酒と料理のアレンジをお願いしてみた。そうして出て来たのが、写真にある鮎正宗の純米生原酒と、かんずりソースの料理だった。

「かんずり」とは郷土食の「寒造り」が語源。雪の多い冬、新井地区の農家が、寒さしのぎのために作った伝統的な保存食が基になっている。この地域では昔から、各家庭で唐辛子をすりつぶし、それに塩を混ぜて鍋

新潟県妙高市

県南西部、長野県に食い込むような形で県境を接しており、隣接する自治体は県内2市に対し長野県4市町村と長野の方が多い。市域西側には日本百名山の妙高、火打、高妻の三山が連なる。また、南の斑尾山周辺と合わせ、七つの温泉地と八つのスキー場など、自然豊かな観光資源を持っている。その一方、国内有数の豪雪地帯であり、豪雪地帯対策特別措置法において特別豪雪地帯に指定されている。中心市街地の新井は江戸時代、江戸と北陸を結ぶ北国街道と、言州の坂山と往来する



かんずりソースを合わせた牛肉のタタキと鮎正宗の純米生原酒（撮影協力：薬膳屋一）



飯山街道が交差する交通の要所として発展した。現在も旧街道沿いには古い町屋や東本願寺新井別院、康源寺、賀茂神社などといった神社仏閣が点在し、当時の雰囲気を感じることが出来る。

面積 / 445・63平方^キ 人口 / 3万4058人(2016年1月31日現在)

【交通アクセス】

上越妙高駅で北陸新幹線に接続するえちごトキめき鉄道の北新井、新井、関山、妙高高原各駅があり、妙高高原駅はしなの鉄道との境界駅ともなっている

上信越自動車道の妙高高原、中郷、新井スマートの各ICが利用出来る

白い雪に赤い唐辛子が映える、かんずりの雪さらしは、妙高を代表する冬の風物詩として、見学に訪れる人やメディアの取材も多い



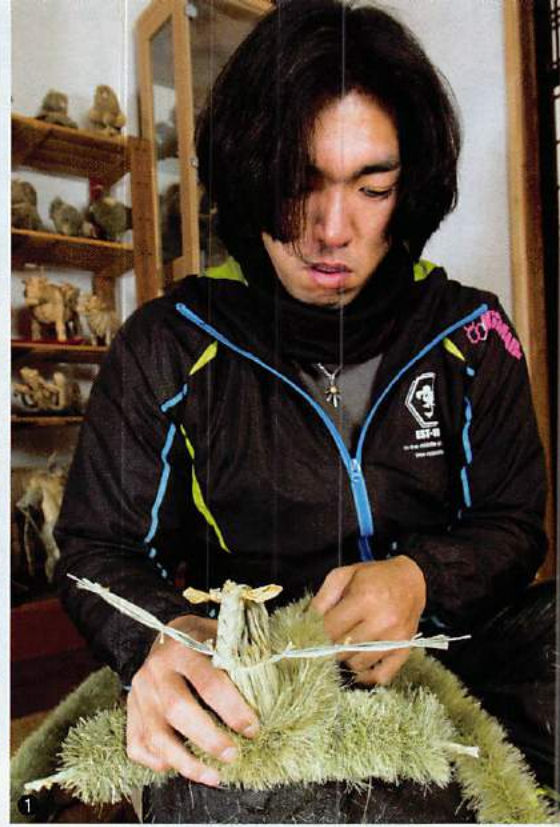
やうどんの薬味にしていたという。

しかし戦後、食が豊かになるに従い唐辛子の寒造りを作る家庭は少なくなつた。そんな風潮を憂い、消えゆく伝統の味を残したいと、寒造りの商品化に取り組んだのが、(有)かんずりの初代社長・東條那次氏だった。現在の東條那次社長は、そんな父の泣き落としにあい、かんずり一筋の人生を歩むことになったと話す。

昭和35(1960)年の創業から10年程は、試行錯誤の連続だったという。69年に県の推奨品に認定され、全国の物産展などに出品するようになった。また隠れた特産品としてメディアに取り上げられる機会も増え、クチコミによって徐々に人気が高まった。そして今では新潟を代表する辛み調味料として、全国から引き合いがくるほどになっている。

かんずりには通常の3倍はある専用の大きな唐辛子を使う。無農薬栽培の唐辛子は夏から秋にかけて収穫し、良質なものをだけを選別して天然の海水塩で塩漬にする。年が明け1月の大寒の頃からは雪の上のまま、3日間程「雪さらし」をする。これにより雪が塩分を吸い取り、唐辛子のアクが抜けると共に、甘みを増しマイルドな味になるという。

雪から掘り起こされたかんずりは、



①平丸スゲ細工では、スゲの葉を木槌でたたき、繊維を毛羽立たせたものを素材として使う。それを何本か組み合わせ、葉を細かく編んで作った体に巻き付けていく

②最後に毛足を整えると、普通のスゲ細工とは全く違う、ふさふさとした毛並みの干支が姿を現す

③全て異なる手法で作られる平丸スゲ細工の十二支。昭和46年(亥=イノシシ)と平成14年(午=ウマ)は年賀切手の図柄にも採用された

※NPO法人平丸スゲ細工保存会 (Tel.0255-77-4839) <http://sugezaiku.jimdo.com>

かんずりの古里・新井から飯山街道を南下すると、鮎正宗酒造を過ぎた辺りで道が二股に分かれる。どちらとも長野県の飯山市に通じているが、右は国道292号線の飯山街道、左は県道412号線の山道となる。左の道は冬期間、積雪のため閉鎖される。閉鎖地点は、平家の落人の里と言いつた。雪に覆われる冬、平丸の男衆は出稼ぎに行き、留守を守る女たちやお年寄り、副業として特産のスゲでゴザや蓑などを作っていた。が、昭和30年代に入ると、ビニール製品に押され、スゲで作った平丸の民具は売れなくなっていた。

転機は昭和33(1958)年。住人の一人の特産品の行商をしていた岩崎クメさんが、長野で買った桐原牧神社の藁馬を持ち帰り、それを民具の作り手である岩崎勇作さんに見せ、スゲ馬の創作を依頼した。

平丸スゲ細工という オンリーワン

細かく粉碎され、麴、柚子、天然塩と混ぜ合わせ、定期的に手返しをしながら3年間熟成させる。この間に唐辛子の辛味と麴のうま味、柚子の酸味と渋味、塩の風味が程良くブレンドされ、深い味が生み出される。



とん汁 たちばな：新井名物のとん汁専門店。具材は豚肉、タマネギ、豆腐と、いたってシンプルだが、シチューにたとえられるほど濃厚でやさしい甘みのある汁が特徴。味の決め手はタマネギ。まず2kgの豚肉を炒め、そこに大量(5kg)のタマネギを投入、更に400gの木綿豆腐7丁を加え、じっくり煮込む。そして最後に前の残り汁をブレンドして完成。創業から44年間、変わらぬ味を守り続け、地元客から観光客まで連日大盛況。多い日には600杯も出る超人気とん汁だ。



苦勞の末に出来上がったスゲ馬は、赤倉温泉などの土産店で好評を博し、新たな商品として増産されるようになった。その後、クメさんの発案で、干支にちなんだスゲ細工がスタート。それが当たり、最盛期の昭和46〜47年には200人が製作に携わり、2千万円を売り上げる程になった。

美佐代さんだった。柴野さんたちは、若者の職場体験メニューとして、古里に伝わるスゲ細工に着目。スタッフの青野尚登さんと共に平丸に通い、職人の一人石田福治さん(86)から基本のスゲ馬作りを学んだ。その中で平丸のスゲ細工が後継者不足に陥っていることを知り、若者支援と併行して、その保存活動に取り組むことになった。まず昨年3月に平丸スゲ細工保存会を立ち上げ、5月には空き家を借りて平丸にスゲ細工創作館をオープン。ここを拠点に、スゲの栽培から刈り取り、製作までを石田さんから学ぶことにした。

伝統的な平丸スゲ細工というのは、干支細工のことを指す。そのため、十二支全ての作り方を覚えるには12年が必要だ。マニュアルは無く、石田さんから2人の記憶だけが頼り。現在、柴野さんと青野さんが習得したのは、去年のヒツジと今年のサル、それに最初に教わった馬の三つ。先は長い。それでも柴野さんたちは、作り手の輪を広げ、全国で唯一無二の民芸品を次代につなげていきたいと挑戦を続けている。

取材協力クラブ
妙高ライオンズクラブ(矢崎賢一会長/30人) ■1966年5月19日結成

今年4月9日に結成50周年記念式典、5月28日には記念事業として、箱根駅伝2連覇の青山学院大学陸上競技部・原晋監督による講演会を開催する。毎年夏のあらいまつりには「ほろ酔い横丁」という名で出店し、生ビールや焼き鳥を販売して事業資金を獲得している。またそれらの資金を基に、市内にある福祉施設にしき園の祭りで屋台村を設営し、園生にフランクフルトや焼きそばを振る舞うなどの活動を実施。更に春先の町内クリーン作戦や、東本願寺別院報恩講での献血奉仕も行っている。

読者から—2月号

国際大会へ向けて

世界の中でのOSEALの立ち位置や、日本のライオンズクラブの在り方がよく分かりました(特集「バンコク・フォーラム」)。フォーラムで語られた国際会長の考えにはぶれがなく、会員によく伝わると感じました。継続的に会員増強と質向上へ取り組む重要性を再認識しました。

そうした中、337・A地区は現在、第99回国際大会開催に向けて準備を進めています。有意義な5日間にすべく、努力を重ねておりますので、ぜひご登録をお願いいたします。

また、獅子吼で書かれていた車椅子については、国際大会の時も解決しなければいけない問題でしょう。地元公共交通機関(バス会社)などへも協力を求め、特に電動車椅子での移動などは、課題として考えていかななくてはいけないと思っています。

福岡城南ライオンズクラブ ●濱真一郎

中村国際理事候補者に期待

特集バンコク・フォーラムの文章中で、多様性について言及

読者プレゼント

■吟醸生かんずり6年仕込みを読者5人に

今月号「ふるさと探訪」(49~53頁)で紹介した、(有)かんずりの「吟醸生かんずり」を5人の読者にプレゼントします。麴の発酵を止めずに仕上げた生かんずりを、通常の倍となる6年間寝かせた限定品です。生であることと、長期間熟成することで、味は普通のかんずりよりもまろやかな辛さが特徴となっています。



寝かせた限定品です。生であることと、長期間熟成することで、味は普通のかんずりよりもまろやかな辛さが特徴となっています。

プレゼントをご希望の方は、はがきに「かんずり」と明記し、氏名、クラブ名、住所、電話番号をご記入の上、ライオン誌プレゼント係までご応募ください。本誌へのご意見、ご感想もお書き添えください。締切は4月末日。応募多数の場合は抽選となります。

【宛先】〒104-0028 東京都中央区八重洲2-6-15 JOTOビル9階 日本ライオンズ事務所・ライオン誌
*オンライン応募はライオン誌ウェブマガジン(www.thelion-mag.jp)の「ライオン誌日本語版」→「プレゼント応募」から。

されていきました。そして、その中で年齢にスポットライトを当て、今回のフォーラムでOSEALからの2016~18年度国際理事候補として推薦が決議された52歳の村中村泰久を紹介し、「ITの活用を促進するためには若い会員を増やすことが早道だ」との山田實紘国際会長のお言葉も引用されています。

52歳と言えば私と同じ年です。私と同じ年の国際理事候補が何を考え、ライオンズクラブ国際協会で行われていくのか、大変興味深いです。

兵庫県・芦屋東ライオンズクラブ ●森川晴之

■阿部俊三氏を思う

獅子吼に掲載された「阿部俊三氏追討文」を読み、当時のことを思い出しました。

阿部さんは認定講師養成講座で2015年10月5日に当地区に來られました。その時は元気にそのものだったもので、半月後に地区薬物乱用防止委員長から亡くなったと聞いた時は、まさに寝耳に水でした。

ライオンズクラブのメンバーではなかったということはこの投稿を読んで初めて知りました。CMのコピーを作成した他、映画監督、代議士秘書、「ダメ。ゼツタイ。」の創作と多才な方だったのですね。

たのですね。

小生は、5~6回養成講座を受講、ゴールドカードを持っています。当クラブは、毎年小・中学校12校で薬物の出前講座を開いています。生徒にアンケートを書いてもらい、全生徒に礼状も書いています。そのことを阿部さんに報告したら、「生徒の記憶に残る行為です」と称賛されました。

阿部さんは、博学でおおらかな人柄でした。心からご冥福を祈ります。

北海道・サッポロシニアライオンズクラブ ●森一男

「ほんやりとした不安」

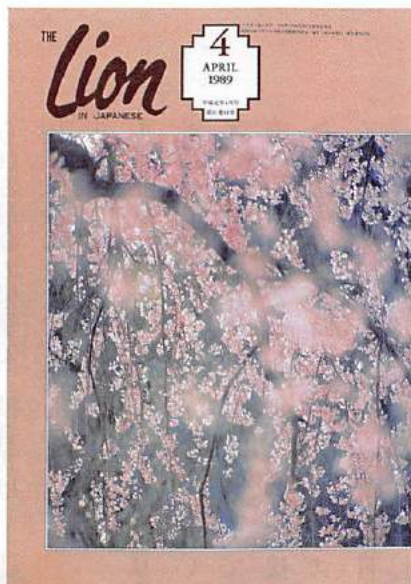
河合陽光（東京島越ライオンズクラブ）

「ライオン誌」バックナンバーから、読者の皆さんにぜひもう一度読んで頂きたい記事をピックアップ。スペースの関係上、多少の編集を加えている場合があります。

「世の中の変化に応じて、クラブも変化しなければならぬ」とし、「過去の古い尺度ではこの変化に対応出来ない」と、ジェニングス国際会長が就任の時におっしゃいました。公式訪問の時のスピーチでも「変化を恐れず、敢然と変化にチャレンジす

を求めて地区分割案が具体化してきましたし、私のクラブでも若い世代にチェンジするいろいろな試みがなされています。さやかでも変化への挑戦というわけです。

しかし、これは当然のことかもしませんが、意識して行う



改革にはどうしても消極論が発生します。意識した計算に誤算があるのか、善意の意思に誤解が生じたのか、いずれにせよ消極論はエラーを恐れるのと同じです。ですが、それでもなおトライし続けることが大事なことを

ることこそ、現代のライオンズに求められている特質だ」と語られ、まことに身の引き縮まる思いがしました。

この変化への呼び掛けには、各地で素早い反応があったように聞いています。私どもの地区でも、会員増強や奉仕の活性化

公式訪問で国際会長はこうも言われました。あるクラブのメンバー全員がメルビン・ジョーンズ・フェローになった功績に触れて「ライオンズムの国際化は時代と共に変化を続ける私たちの奉仕活動にとって将来を形成する要素だ」と。

国際化に向かうライオンズ運動から見れば、まことに螳螂の斧のごとき運動ですが、クラブ・メンバーの奉仕に対する参加意識から見れば、国際協会の視野から見た全世界的な奉仕と等価値の、クラブ存在の基盤となる事業と言えらるるのです。

まさにグローバルなサービス時代の到来を思わせます。もちろん賛成です。ですが、翻つて、私たちのクラブを見ますと、全メンバーが直ちにメルビン・ジョーンズ・フェローになるなんてことはとても望めません。

我々のクラブはこれからも、国際化する路線に乗り遅れないように進みたいと思えますし、身近な地域での奉仕も今まで通り行いたいと思っています。

クラブは前々から、高校生に対する奨学金を支給する奉仕活動が続いているからで、LCIFよりもまず我々の、それは国際的な偉大なアクティビティとは比較にならないほどの小さなものですが、その事業に労力と金力が必要としているからです。他にも、献血や地域内の小学校、町内会などにも、いろいろな奉仕を続けています。

しかし今後、国際化が今より一層定着してきた時、意識するしないにかかわらずクラブの微々たるアクティビティの価値観に変化が来はしないか、と一抹の不安が残ります。微々たるアクティビティでも、メンバー団結の絆でもあるからです。大正から昭和に改元された頃「ほんやりとした不安」という言葉が流行したようですが、私の不安もこれに類した他愛のないものかもしれません。

ライオン誌例会のスヌメ
— 次の例会ですぐ使える情報

ライオンズ百科

ライオンズが贈る最高の栄誉

ライオンズ人道主義大賞はライオンズクラブ国際協会から贈られる最高の栄誉で、授賞式は国際大会の総会の中で行われる。1973年の創設以来、ノーベル平和賞受賞者のマザー・テレサ氏(86年)やワングリ・マータイ氏(10年)を始め、ユニセフ親善大使第1号として33年間にわたり活躍した俳優のダニー・ケイ氏(74年)、元地区ガバナーでもあるジミー・カーター元アメ

5月号予告

特集 ライオンズ・レガシー

「100周年記念コミュニティ・レガシー・プロジェクト」は、地域にライオンズの遺産(レガシー)となる贈り物をしようというプログラム。この新たな記念プログラムのス

タートに当たり、これまでに日本各地のクラブが地域に残してきたレガシーの数々を紹介する。



クイズ de 例会

〈第1問〉国際協会が実施する講師育成研究会。略して何?

- a. FBI b. FDA
- c. FDI

〈第2問〉はしか撲滅のためにLCIFがパートナーシップを結ぶ財団は?

- a. ビル&メリンダ・ゲイツ財団
- b. クリントン財団
- c. トランプ財団

〈第3問〉福岡国際大会でインターナショナル・パレードが行われる通りの名前は?

- a. 明治通り b. 大正通り
- c. 昭和通り

〈第4問〉貧困状態に置かれている日本の子どもの割合は?

- a. 4人に1人 b. 6人に1人
- c. 8人に1人

〈第5問〉アメリカ国外で最初にライオンズクラブが結成された国は?

- a. カナダ b. 中国
- c. メキシコ

★回答は54ページ

リカ大統領(96年)らが受賞している。昨年のホルル国際大会では、危機に瀕した子どもの支援に取り組む国際NGOセーブ・ザ・チルドレンに贈られた。日本人の受賞者は、日本赤十字社への献血運搬車寄贈など慈善活動に尽力した元横綱の大鵬幸



アトランタ国際大会から帰国後、大相撲本場所のため名古屋滞在中の大鵬親方(中)を村上前会長(当時/右)が表敬訪問。報道関係者に受賞が披露された

1960・1961

1937(昭和12)年4月15日、

ライオンズクラブの奉仕に大きな影響を与えたヘレン・ケラーが初来日した。

日本ライトハウスの設立(35年)に尽力した岩橋武夫氏が、渡米中にヘレン・ケラー宅を訪れて日本での視覚障害者支援事業への啓発のために日本を訪問してほしいと依頼し、これに応じて来日を実現した。3カ月半

喜氏(82年)。アメリカ・アトランタで開催された第65回国際大会において、当時の村上薫国際会長から授与された。今年6月の福岡国際大会では誰が人道主義大賞を受賞するのか、発表が楽しみなところだ。

にわたる滞在中、大阪市阿倍野区に建設されていたライトハウス会館を始め、全国各地の盲ろう学校を訪問。講演や対談はヘレンが口話法で秘書に話し、秘書の英語を岩橋氏が日本語に訳すといった形で行われ、子どもたちや関係者を励ました。

戦後間もない1948(昭和23)年8月、2回目の来日の際には、日本盲人会連合と毎日新聞社の協賛による一大キャンペーンが展開されて、盲人福祉法の制定運動に発展。これを機に翌年12月、障害者一般を対象とする身体障害者福祉法が制定されることになった。3回目となる1955(昭和30)年の来日時には、勲三等瑞宝章を授けられている。



EXECUTIVE OFFICERS

President Dr. Jitsuhiro Yamada, Minokamo-shi, Gifu-ken, Japan; Immediate Past President Joseph Preston, Dewey, Arizona, United States; First Vice President Robert E. Corlew, Milton, Tennessee, United States; Second Vice President Naresh Aggarwal, Delhi, India. Contact the officers at Lions Clubs International, 300 W 22nd St., Oak Brook, Illinois, 60523-8842, USA.

DIRECTORS

Second year directors

Svein Øystein Berntsen, Hettlevik, Norway; Jorge Andrés Bortolozzi, Coronda, Argentina; Eric R. Carter, Auckland, New Zealand; Charlie Chan, Singapore, Singapore; Jack Epperson, Nevada, United States; Edward Farrington, New Hampshire, United States; Karla N. Harris, Wisconsin, United States; Robert S. Littlefield, Minnesota, United States; Ratnaswamy Murugan, Kerala, India; Yoshinori Nishikawa, Himeji, Hyogo, Japan; George Th. Papas, Limassol, Cyprus; Jouko Ruissalo, Helsinki, Finland; N. S. Sankar, Chennai, Tamil Nadu, India; A. D. Don Shove, Washington, United States; Kembra L. Smith, Georgia, United States; Dr. Joong-Ho Son, Daejeon, Republic of Korea; Linda L. Tincer, Indiana, United States.

First year directors

Meivin K. Bray, New Jersey, United States; Pierre H. Chatel, Montpellier, France; Eun-Seouk Chung, Gyeonggi-do, Korea; Gurcharan Singh Hora, Siliguri, India; Howard Hudson, California, United States; Sanjay Khetan, Birganj, Nepal; Robert M. Libin, New York, United States; Richard Liebno, Maryland, United States; Helmut Marhauer, Hildesheim, Germany; Bill Phillip, Kansas, United States; Lewis Quinn, Alaska, United States; Yoshiyuki Sato, Oita, Japan; Gabriele Sabatosanti Scarpelli, Genova, Italy; Jerome Thompson, Alabama, United States; Ramiro Vela Villarreal, Nuevo Leon, Mexico; Roderick "Rod" Wright, New Brunswick, Canada; Katsuyuki Yasui, Hokkaido, Japan.

Lions Clubs International Headquarters
300 W 22ND STREET OAK BROOK IL 60523-8842 USA
TEL (630)571-5466 FAX (630)571-8890
Web site: www.lionsclubs.org

ライオンズクラブ国際協会の公式出版物であるライオン誌は、国際理事会の認可を得て次の20カ国語で発行される。英語、スペイン語、日本語、フランス語、スウェーデン語、イタリア語、ドイツ語、フィンランド語、韓国語、ポルトガル語、オランダ語、デンマーク語、中国語、ノルウェー語、アイスランド語、トルコ語、ギリシャ語、ヒンディー語、インドネシア語、タイ語

ライオン誌日本語版委員会

- 国際理事 西川 義規
- 国際理事 安井 克之
- 国際理事 佐藤 宣之
- 委員長 塚田 雅二 (333複合地区)
- 編集長 井村 一男 (337複合地区)
- 委員長 久津間康允 (330複合地区)
- 委員長 中嶋 幸 (331複合地区)
- 委員長 佐藤 義則 (332複合地区)
- 委員長 石井 博之 (334複合地区)
- 委員長 中村 房雄 (335複合地区)
- 委員長 寺越 慎一 (336複合地区)

日本ライオンズ事務所・ライオン誌
〒104-0028東京都中央区八重洲2-6-15 JOTOビル9階
TEL.(03)6674-8777 (代) FAX.(03)6674-8781
E-mail. edit@thelion.jp
Website: www.thelion-mag.jp

編集室

ライオン誌の目的



ライオン誌
日本語版委員
●
寺越 慎一
(広島平和)

ライオン誌は国際理事会の決定により、2018年1月からオンライン版に移行することになっています。その理由は森林破壊につながる紙の使用を減らすことにあると聞いていますが、各国語版に対する補助金減額による経費削減が大きな狙いだと思われれます。国際理事会方針に、ライオン誌の目的は「国際協会の方針及び活

動に関して参考になる情報をもつたの会員に伝えること、一層優れた奉仕をするよう会員の意欲を高めること、そして協会プログラムを非ライオンズに示すこと」とあります。果たしてオンライン版だけでこれらの目的を果たすことが出来るでしょうか？

57年前、私が10歳の頃に父がライオンズクラブに入会し、以来ライオンズの奉仕の数々を見聞きして育ちました。そして父亡き後34年間、ライオンズで奉仕活動をしてまいりました。しかし残念ながら、我々の活動は世間あまり理解されていないのが現実です。考

えてみれば、効果的なPRが行われていません。私はライオンズが何をしているかを正しく理解してもらえれば、入会者はもっと増えると考えています。それには、入会希望者など会員以外の方々に手渡して、さまざまな奉仕活動を知ってもらえるライオン誌が役立つことでしょう。また、ライオンズ特有の用語などを除いて会員以外の方々に違和感なく読んで頂けるバージョンを作るのも一案です。

本誌は今年度、山田實紘国際会長がOSEALフォーラムの改革の必要性を訴えておられるのを受け、全会則地域のフォーラムを取

材しました。私はインドとウルグアイで開かれたフォーラムを担当し、2月号と3月号でレポートした通りいろいろなことを見て、体験してまいりました。336複合地区はかねてより原子爆弾の惨禍を受けた平和都市・広島でのOSEALフォーラム開催を熱望していましたが、今年度の議長連絡会議において次回の日本でのフォーラム開催地は336複合地区とすることが決定しました。取材した二つのフォーラムの学ぶべき点、参考にすべき点などを整理し、広島でのOSEALフォーラム成功に生かしたいと切に願っております。

日本ライオンズクラブ分布図

2016.2.29 eMMR ServannA報告による

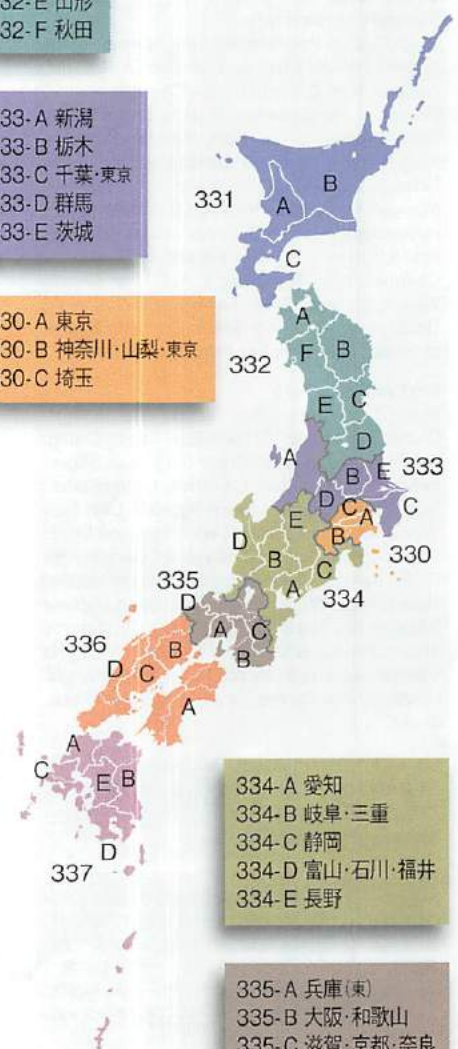
地区	クラブ数	会員数	増減	男女別会員数		家族会員数			
				男性	女性 (割合)	子会員	増減	男性	女性
330-A	202	6,568	143	4,739	1,829 (27.8)	1,882	53	611	1,271
330-B	166	4,839	70	3,992	847 (17.5)	626	26	174	452
330-C	87	2,461	28	1,982	479 (19.5)	414	0	125	289
330計	455	13,868	241	10,713	3,155 (22.8)	2,922	79	910	2,012
331-A	73	2,826	56	2,254	572 (20.2)	528	28	99	429
331-B	85	2,772	93	2,245	527 (19.0)	456	23	57	399
331-C	52	2,030	77	1,641	389 (19.2)	373	67	92	281
331計	210	7,628	226	6,140	1,488 (19.5)	1,357	118	248	1,109
332-A	64	2,150	69	1,675	475 (22.1)	376	45	83	293
332-B	53	2,450	35	1,616	834 (34.0)	832	37	136	696
332-C	68	1,889	69	1,345	544 (28.8)	501	18	104	397
332-D	73	2,551	139	1,955	596 (23.4)	540	66	109	431
332-E	56	2,084	61	1,628	456 (21.9)	396	32	61	335
332-F	45	1,451	52	1,052	399 (27.5)	350	37	61	289
332計	359	12,575	425	9,271	3,304 (26.3)	2,995	235	554	2,441
333-A	75	3,508	200	2,680	828 (23.6)	832	122	207	625
333-B	49	1,796	233	1,129	667 (37.1)	593	178	152	441
333-C	133	3,811	31	2,879	932 (24.5)	745	24	260	485
333-D	54	2,532	206	1,804	728 (28.8)	764	124	177	587
333-E	79	4,674	327	3,031	1,643 (35.2)	1,836	218	468	1,368
333計	390	16,321	997	11,523	4,798 (29.4)	4,770	666	1,264	3,506
334-A	119	7,336	290	4,754	2,582 (35.2)	2,683	224	551	2,132
334-B	79	5,413	24	3,458	1,955 (36.1)	2,300	18	519	1,781
334-C	80	3,807	30	2,989	818 (21.5)	784	0	113	671
334-D	99	6,272	93	4,009	2,263 (36.1)	2,398	9	422	1,976
334-E	52	2,733	158	1,912	821 (30.0)	859	112	225	634
334計	429	25,561	595	17,122	8,439 (33.0)	9,024	363	1,830	7,194
335-A	84	2,241	85	1,763	478 (21.3)	231	46	33	198
335-B	171	7,006	461	5,025	1,981 (28.3)	1,736	308	353	1,383
335-C	119	4,286	167	3,553	733 (17.1)	482	92	104	378
335-D	64	2,126	128	1,661	465 (21.9)	359	94	91	268
335計	438	15,659	841	12,002	3,657 (23.4)	2,808	540	581	2,227
336-A	148	6,484	293	4,799	1,685 (26.0)	1,327	198	243	1,084
336-B	95	3,424	306	2,740	684 (20.0)	480	268	76	404
336-C	96	3,542	364	3,008	534 (15.1)	378	340	65	313
336-D	95	3,513	289	2,901	612 (17.4)	433	233	39	394
336計	434	16,963	1,252	13,448	3,515 (20.7)	2,618	1,039	423	2,195
337-A	116	6,056	348	4,165	1,891 (31.2)	1,653	271	354	1,299
337-B	69	3,077	88	2,189	888 (28.9)	893	55	180	713
337-C	82	4,443	101	2,894	1,549 (34.9)	1,655	104	488	1,167
337-D	78	2,478	57	2,108	370 (14.9)	220	28	38	182
337-E	57	1,794	131	1,469	325 (18.1)	228	90	65	163
337計	402	17,848	725	12,825	5,023 (28.1)	4,649	548	1,125	3,524
総計	3,117	126,423	5,302	93,044	33,379 (26.4)	31,143	3,588	6,935	24,208

331-A 北海道(道央)
331-B 北海道(道北・道東)
331-C 北海道(道南)

332-A 青森
332-B 岩手
332-C 宮城
332-D 福島
332-E 山形
332-F 秋田

333-A 新潟
333-B 栃木
333-C 千葉・東京
333-D 群馬
333-E 茨城

330-A 東京
330-B 神奈川・山梨・東京
330-C 埼玉



334-A 愛知
334-B 岐阜・三重
334-C 静岡
334-D 富山・石川・福井
334-E 長野

335-A 兵庫(東)
335-B 大阪・和歌山
335-C 滋賀・京都・奈良
335-D 兵庫(西)

336-A 徳島・高知・香川・愛媛
336-B 鳥取・岡山
336-C 広島
336-D 島根・山口

337-A 福岡・長崎
337-B 大分・宮崎
337-C 佐賀・長崎
337-D 鹿児島・沖縄
337-E 熊本

世界のライオンズ
2016.2.29 国際協会集計

国または領域………210 クラブ数 ……46,570
会員数 ……1,396,334 会員数増減 ……18,391

WHERE THERE'S A NEED
THERE'S A LION

SINCE 1917



奉仕の歴史を奉仕で祝う 100周年記念奉仕チャレンジ

2年後に迫った協会創設100周年祭を、ライオンズの神髄である奉仕によって祝おうと、昨年度から「100周年記念奉仕チャレンジ」がスタートしました。「青少年の奉仕を促そう」「視力を分かち合おう」「食料支援をしよう」「環境を保護しよう」の四つの奉仕分野で各クラブが事業を行い、それぞれ2500万人、計1億人に奉仕しようという挑戦です。実施期間は2014年7月から18年6月までで、4年度にわたって続けられることとなります。



YOUTH

2500万人に貢献

青少年の参加を促そう - 地域の青少年を助ける奉仕事業を行ったり、あるいはレオや地域の青少年と一緒に奉仕を行ってもらい、次世代のボランティアを育てることも出来ます。



VISION

2500万人に貢献

視力を分かち合おう - 目の不自由な子どもや隣人の役に立つ事業を計画して、視力の贈り物をしましょう。



HUNGER

2500万人に貢献

食料支援をしよう - フードドライブ（食品回収）や炊き出し支援活動などを通じて、家庭や地域の健康を支えます。



ENVIRONMENT

2500万人に貢献

環境を保護しよう - 環境を保護・美化する事業を企画し、皆にとって住みよい町づくりを目指しましょう。

ライオンズクラブ国際協会創設100周年のテーマは、「ニーズのあるところに、ライオンズがいる」。地域のニーズに応えるアクティビティで、100周年祭を祝う記念奉仕チャレンジに参加しましょう。

99thライオンズクラブ国際大会

～福岡市にて開催～

期間

2016年6月24日(金)～28日(火)



Do for People Do for World

99th International Convention
2016 Fukuoka Japan

スローガン「動き出そう!人々のために、世界のために」
Do for People Do for World

今、世界はライオンズムの情熱と献身的な奉仕を切望しています。

全ての国家と民族に自由と正義を保証する平和を実現するために、世界中のライオンは堅く団結し、人々の期待に応えようではありませんか。

創立100周年のシカゴ大会を目前にして、2016年には当地福岡にて「第99回ライオンズクラブ国際大会」が挙行されます。

全世界から多くのライオンが一堂に会し、感動的であり有意義な誇るべき大会になることでしょう。

ホスト委員会(MD337)をはじめ、福岡県、福岡市、地元の様々な民間企業が一体となっておもてなし(OMOTENASHI)の心で皆様をお迎えできるように、総力を挙げて取り組んでまいります。

ぜひともご登録・ご参加賜りますよう、心よりお願い申し上げます。福岡が皆さんをお待ちしています!

※二行目はメルビン・ジョーンズのお言葉です。

主要会場



本部ホテル



本会場 / 福岡ヤフオク!ドーム



展示会場 / マリンメッセ福岡



登録会場 / 福岡国際会議場

6月24日(金)	6月25日(土)	6月26日(日)	6月27日(月)	6月28日(火)
<ul style="list-style-type: none">大会登録や参加キットの受け取り 午前10時～午後5時・福岡国際会議場展示ホール 午前10時～午後5時・マリンメッセ福岡	<ul style="list-style-type: none">インターナショナルパレード 午前10時スタート・福岡市のメインストリート 明治通を行進します展示ホール 午前11時～午後5時・マリンメッセ福岡インターナショナルショー 午後7時～8時15分・ヤフオクドーム	<ul style="list-style-type: none">初日総会 / 開会式 午前10時～午後1時・ヤフオクドーム展示ホール、セミナー 会議 午前10時～午後5時・マリンメッセ福岡、 福岡国際会議場	<ul style="list-style-type: none">2日目総会 午前10時～午後1時・ヤフオクドーム展示ホール、セミナー 会議 午前10時～午後5時・マリンメッセ福岡、 福岡国際会議場	<ul style="list-style-type: none">投票 午前7時30分～10時30分・マリンメッセ福岡3日目総会 / 閉会式 午前10時～午後1時30分・ヤフオクドーム

☆ヤフオクドーム、マリンメッセ福岡、福岡国際会議場への入場には、国際大会への参加登録者に用意される「参加登録証」の着用が必要です。

☆ホスト委員会の活動状況、大会スケジュール等については随時ホームページに発表していますので是非ご参照ください。

ライオンズ会員専用ページへログインする為のユーザー名は「lions」パスワードは「japan」です。



第99回 ライオンズクラブ国際大会 ホスト委員会事務局

〒810-8650 福岡市中央区地行浜2-2-3 ヒルトン福岡シーホーク

Tel / 092-407-8199 Fax / 092-407-8948 E-mail / lc99intcnv@iaa.itkeeper.ne.jp

<http://lions99-fukuoka.jp>